

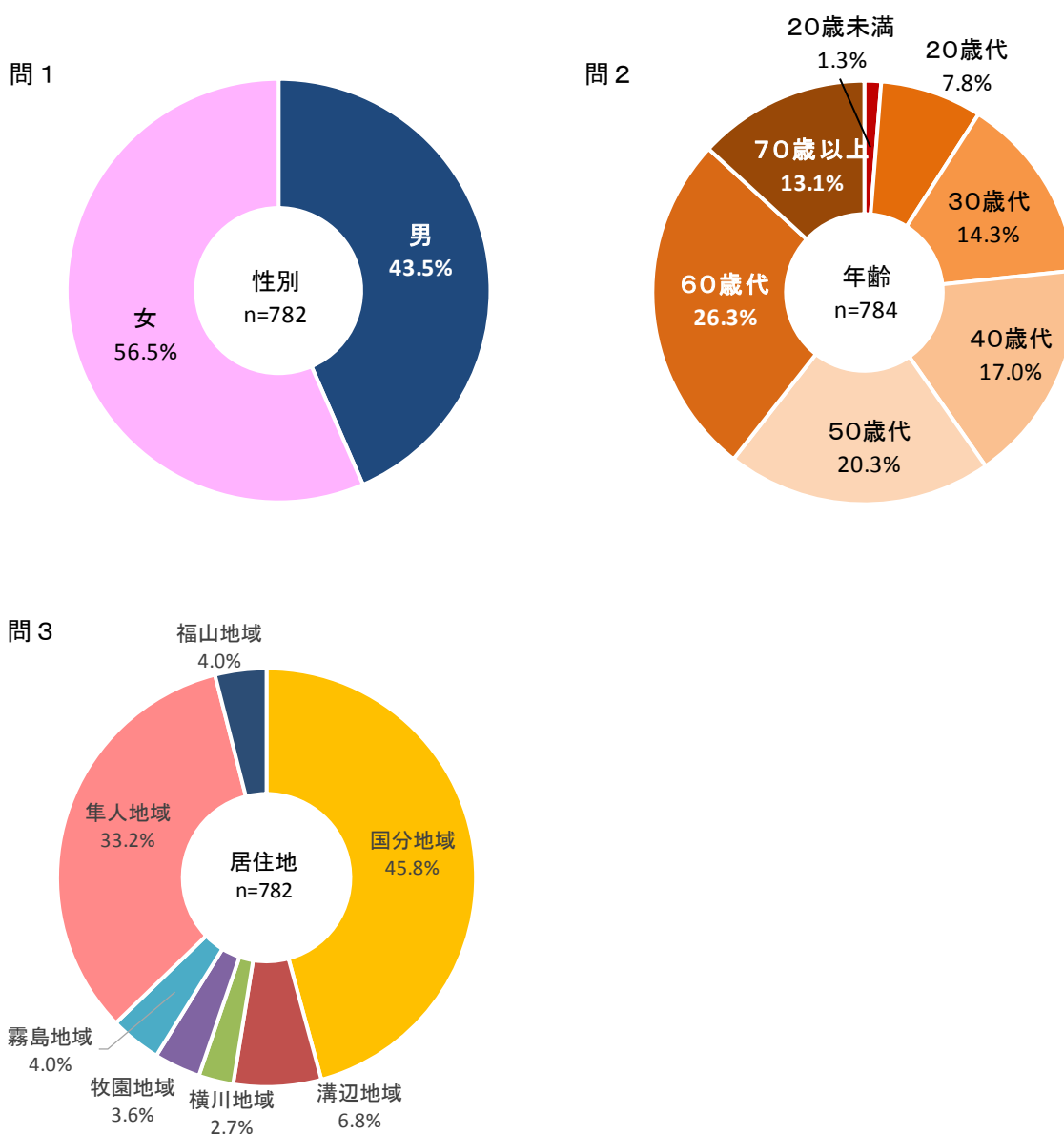
# 霧島市都市計画マスタープラン 市民アンケート調査結果

## (1) 調査概要

配布対象	・ 満 18 歳以上の市民 約 2,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）
回収数	・ 786 人（回収率 39.2%） < うち 2 人は白紙回答のため、有効回答数は 784 人 >
スケジュール	・ アンケート票配布 平成 30 年 11 月 14 日 ・ // 回収締切 平成 30 年 11 月 30 日（郵送にて配布・回収）

(注) 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても 100 (%) とはならない場合がある。  
 複数回答の構成比は、回答者数を母数とした。

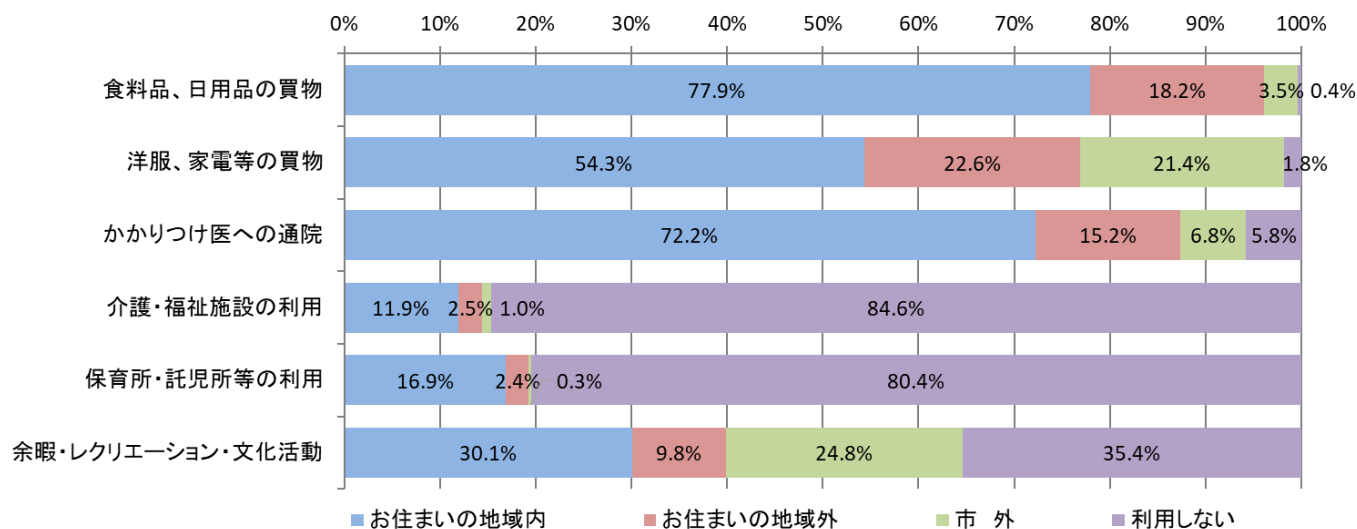
## (2) 回答者の属性



### (3) 調査結果

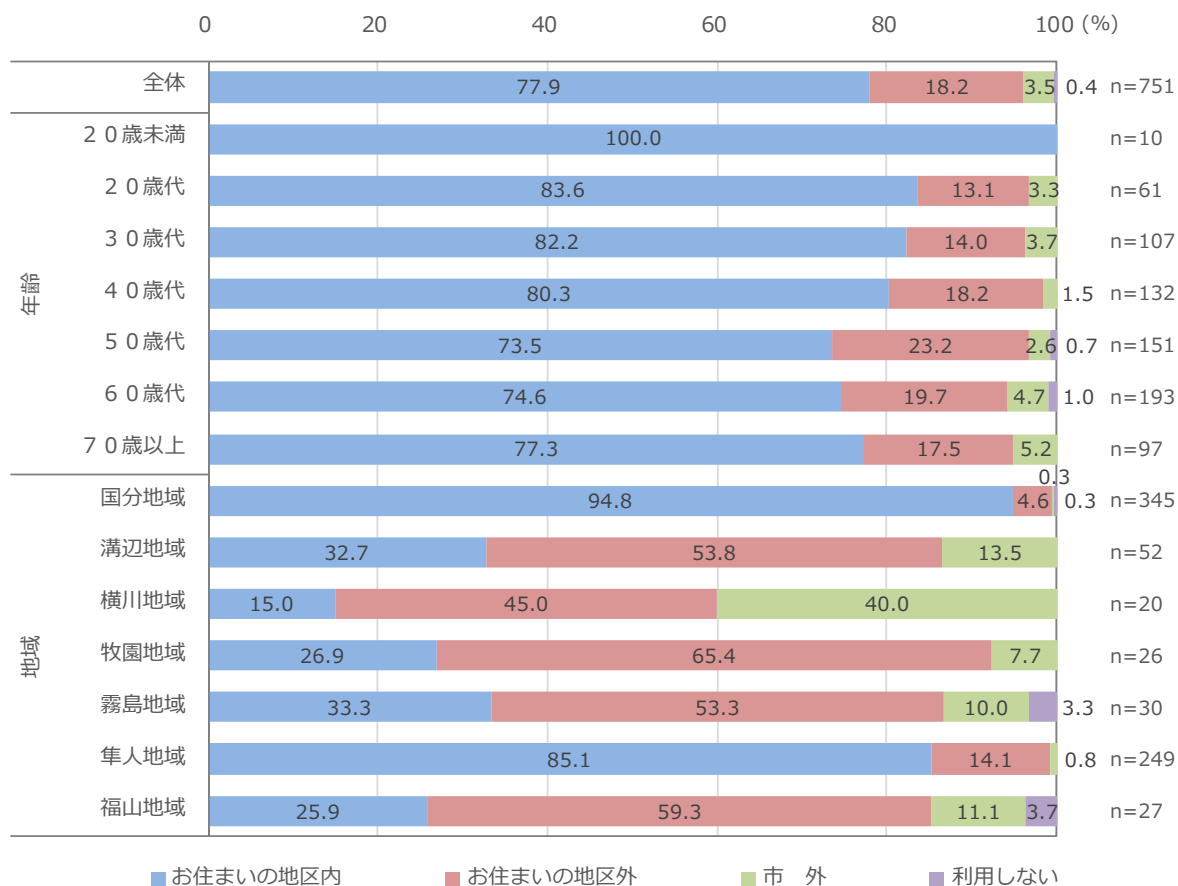
問4. お住まいの地域での日常生活について、以下の1～6の項目を行う場合の行き先について、あてはまる番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

#### 【よく使う行き先（全体）】



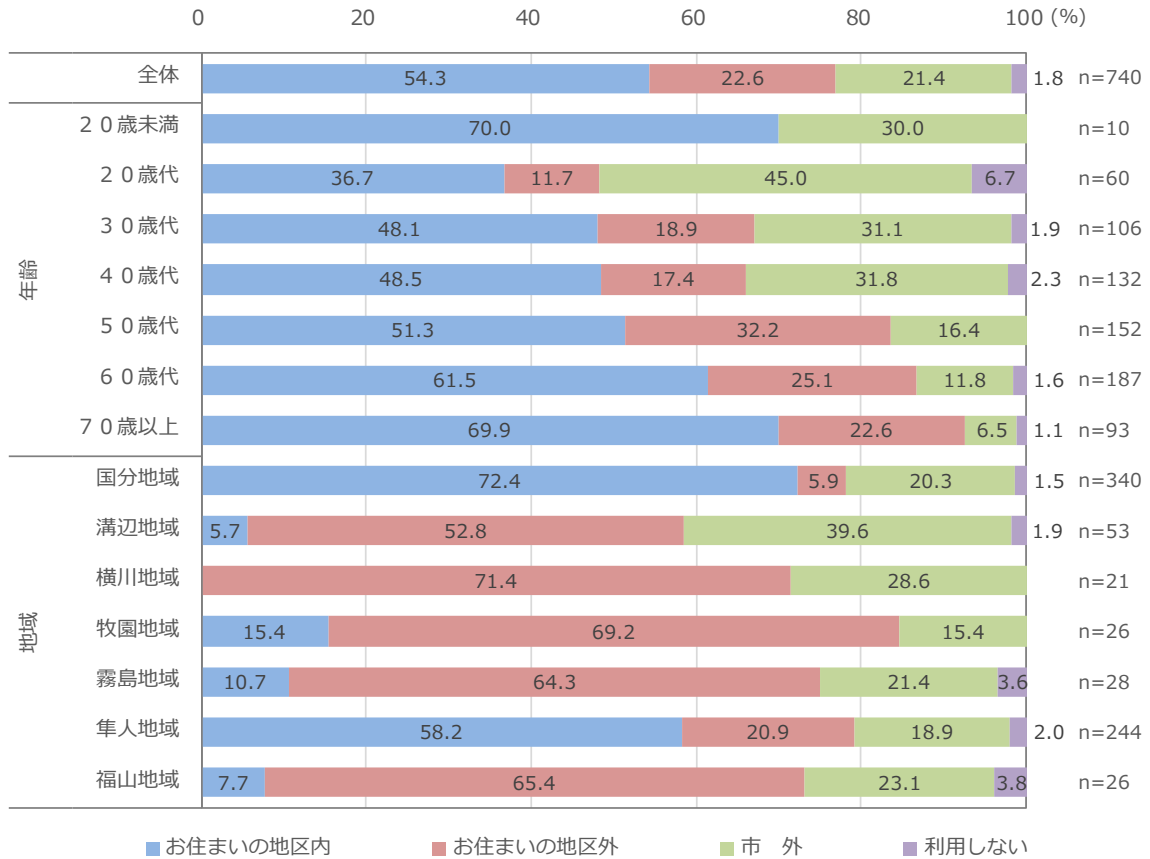
#### 【よく使う行き先（食料品・日用品の買物）】

・国分・隼人の2地域以外は、他地域へ行く方が5割以上を占め、他地域に依存。特に、横川地域では4割が市外へ依存。



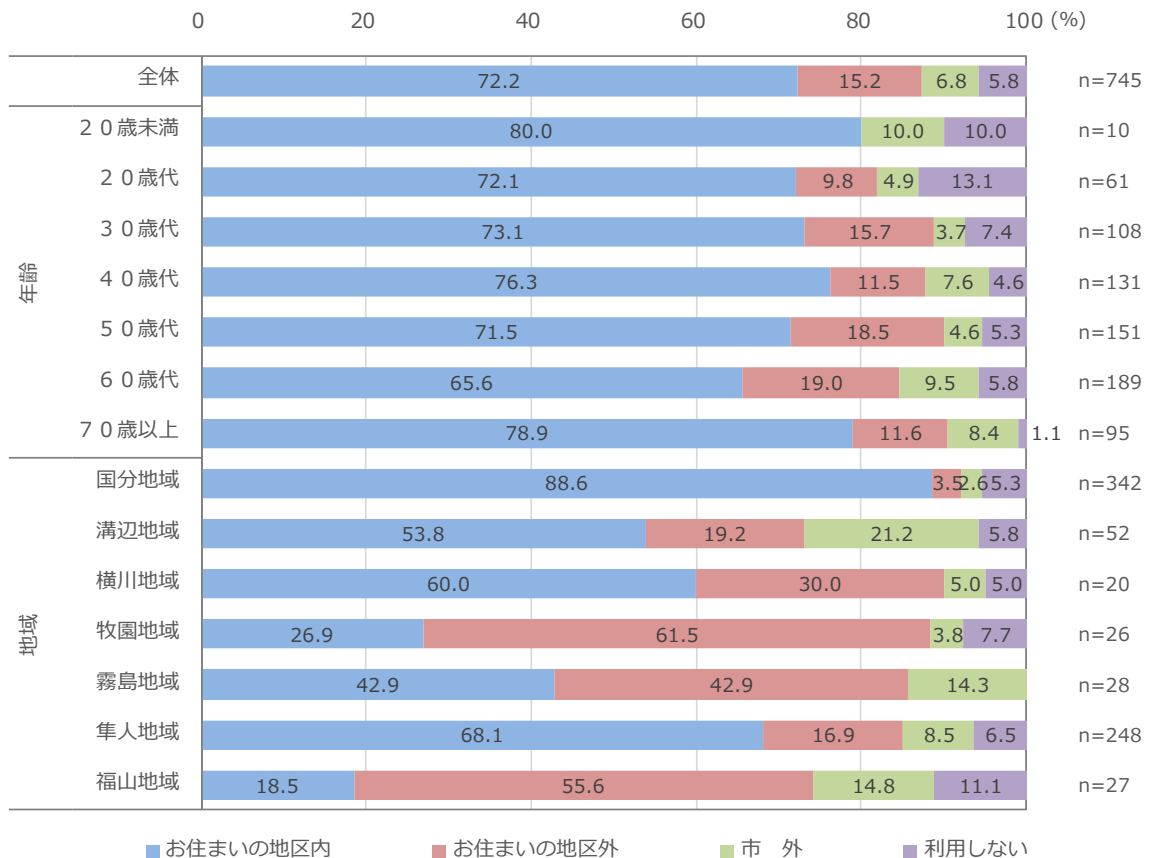
### 【よく使う行き先（洋服、家電等の買物）】

・国分・隼人の2地域以外は、他地域へ行く方が6割以上。

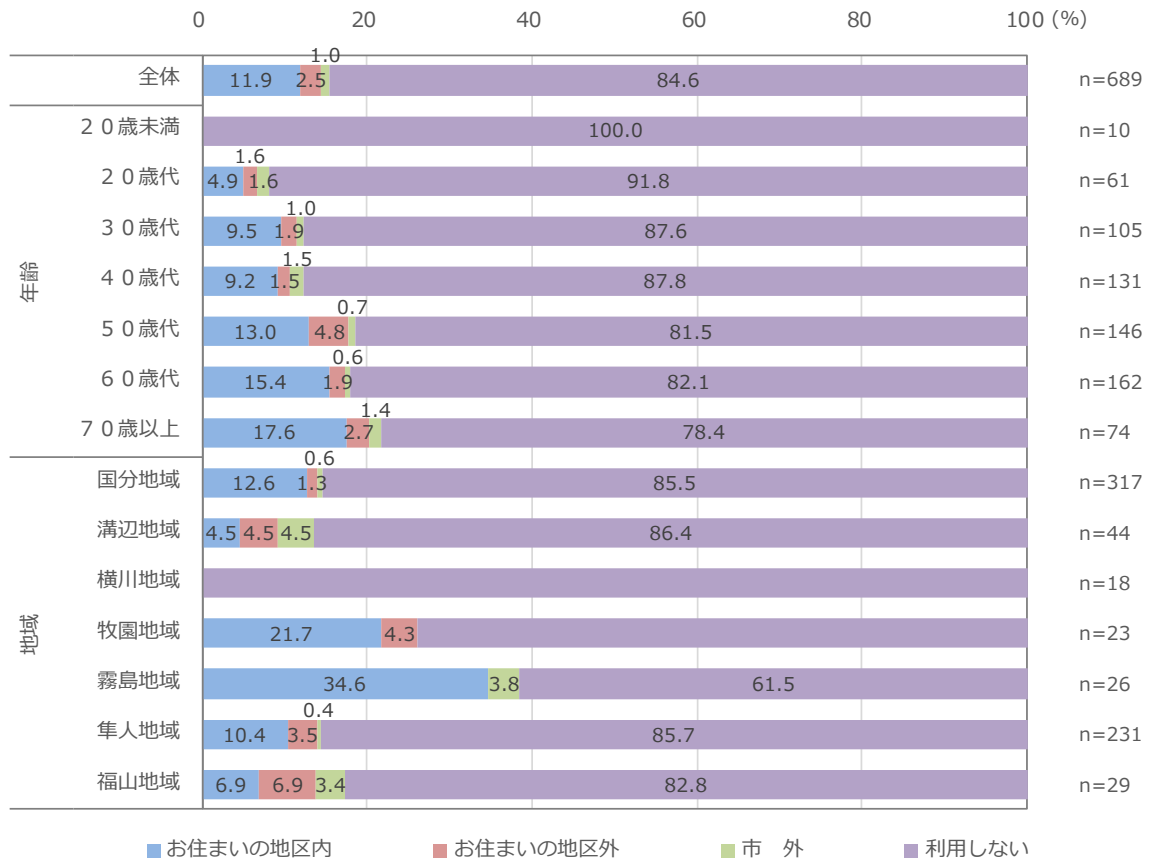


### 【よく使う行き先（かかりつけ医への通院）】

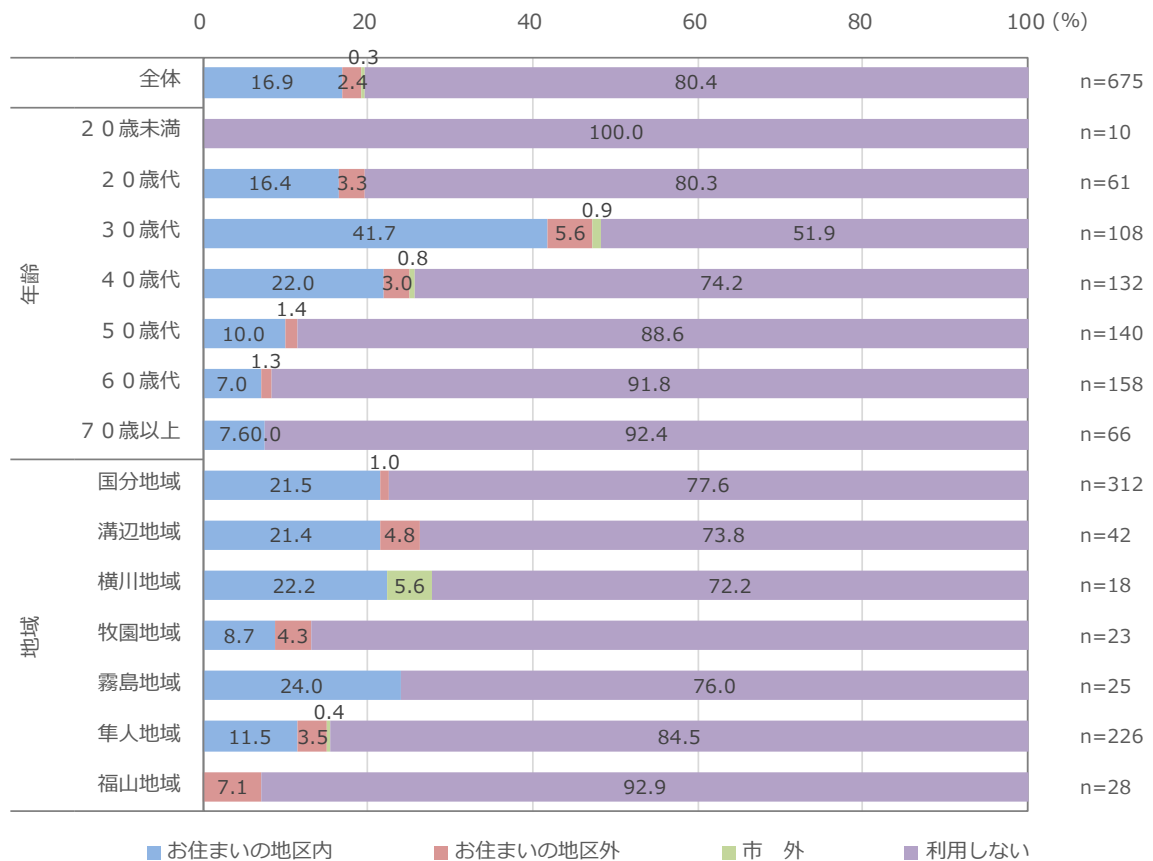
・全体では7割が地域内に依存。牧園・福山・霧島の3地域は、地域外への依存が高い。



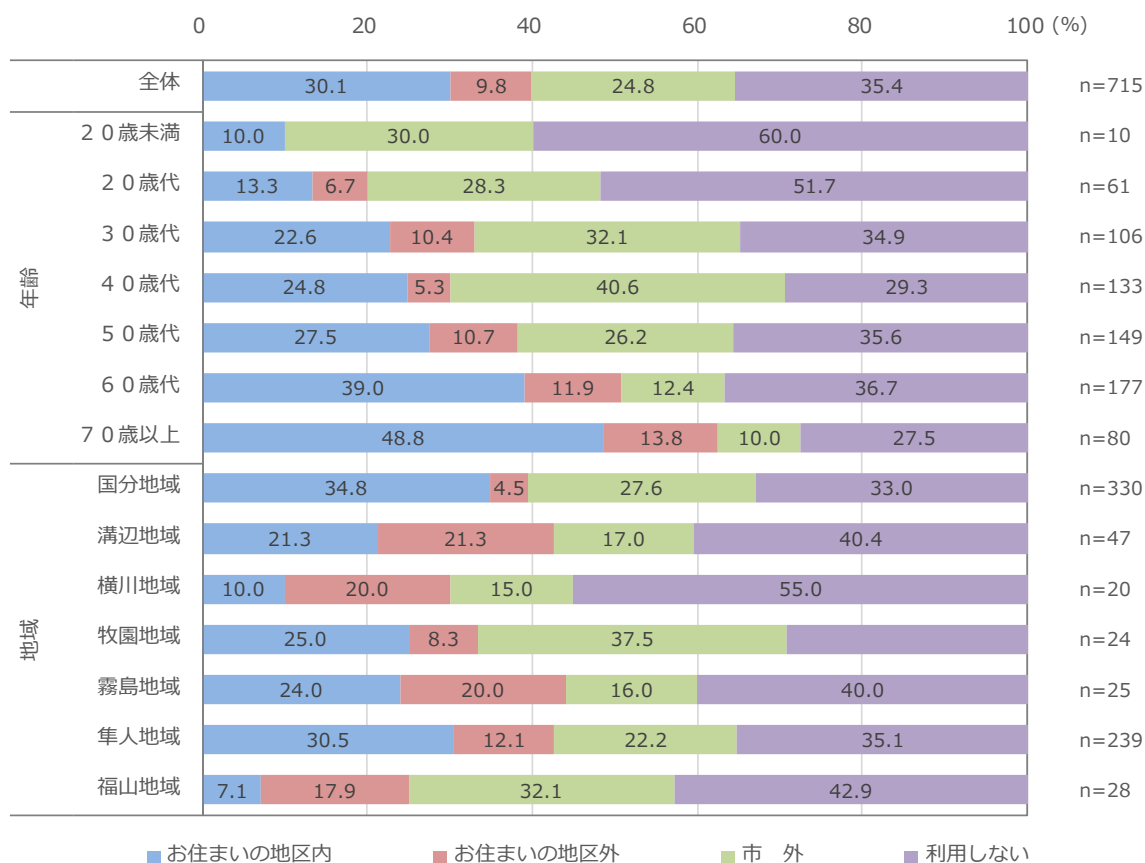
### 【よく使う行き先（介護・福祉施設の利用）】



### 【よく使う行き先（保育所・託児所等の利用）】



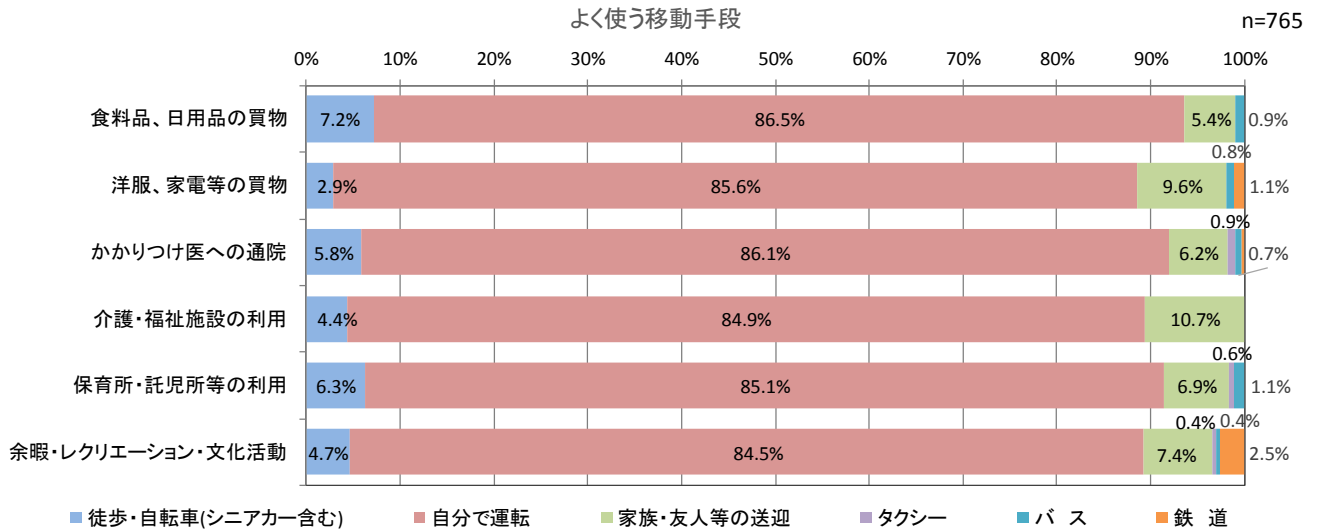
## 【よく使う行き先（余暇・レクリエーション・文化活動）】



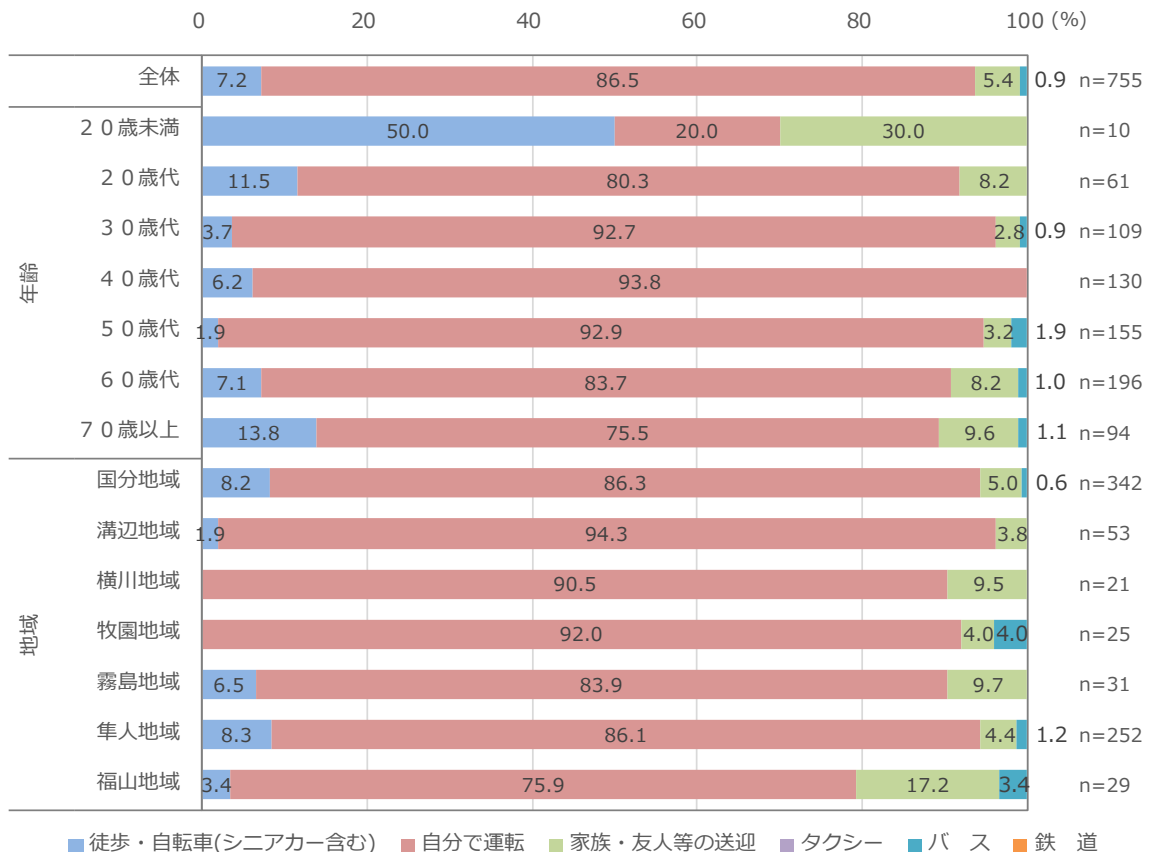
問4. お住まいの地域での日常生活について、以下の1～6の項目を行う場合の移動手段について、あてはまる番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

【よく使う移動手段（全体）】

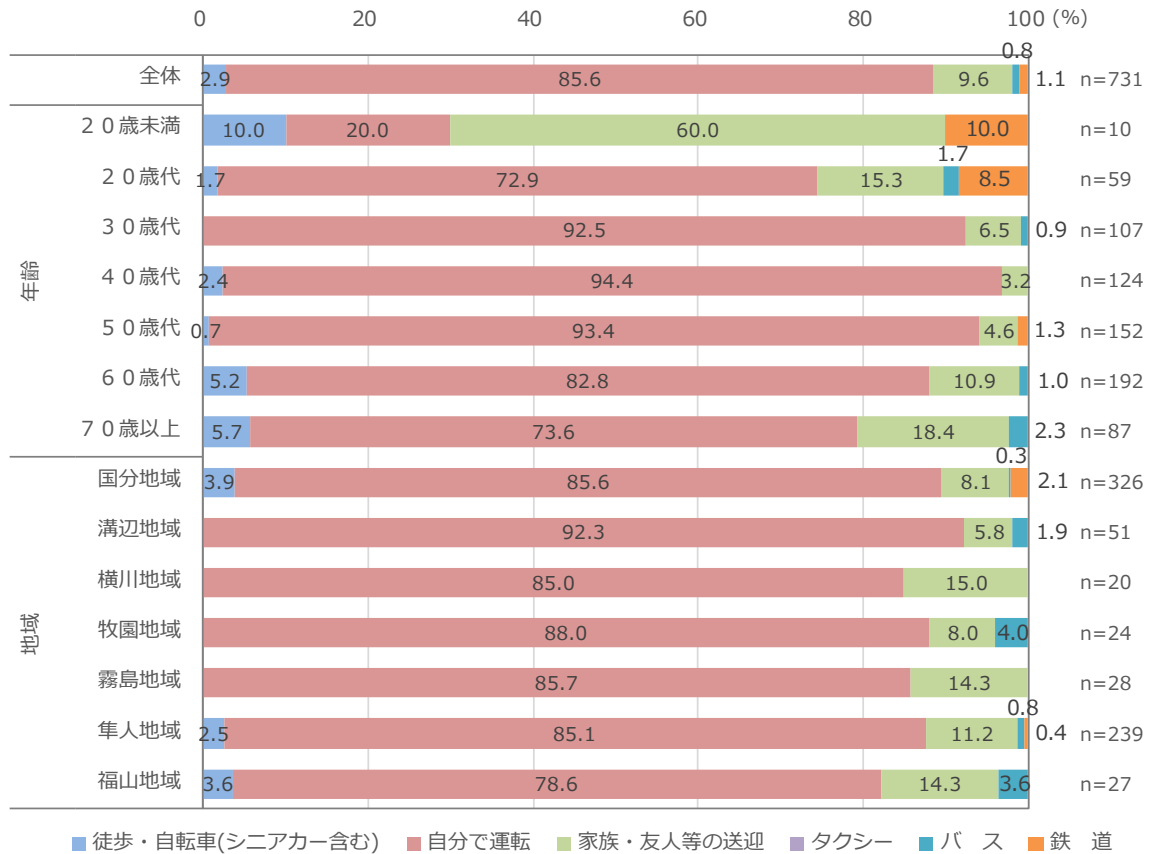
- ・自分で運転する方が、どの目的も85%以上。バスや鉄道の公共交通を利用する方は3%も満たない。



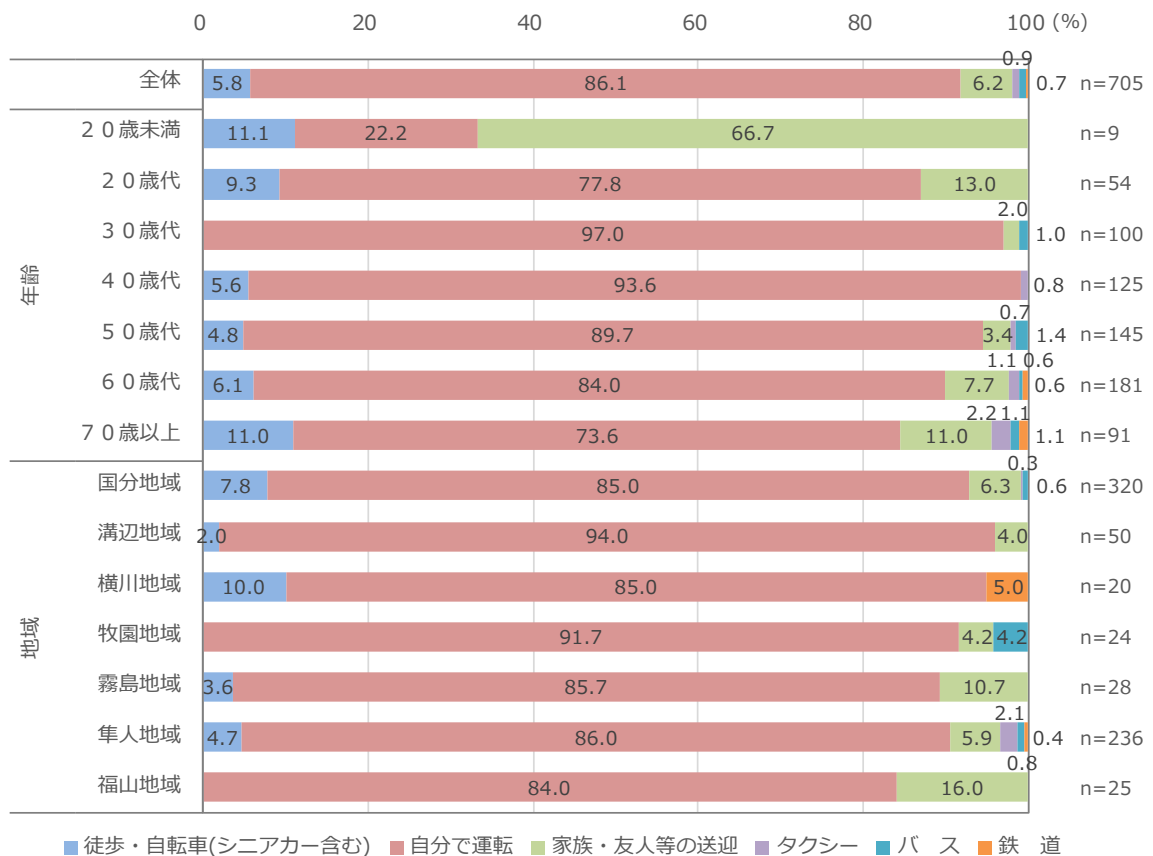
【よく使う移動手段（食料品、日用品の買物）】



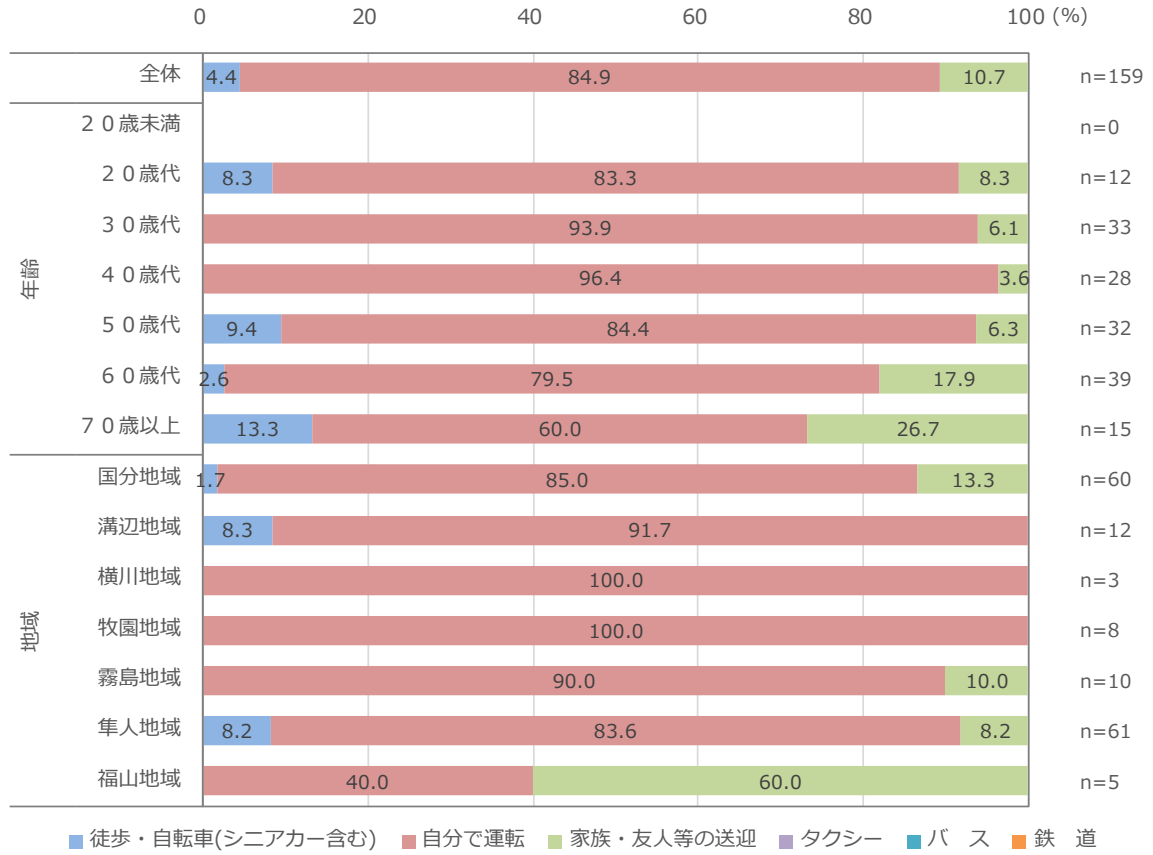
### 【よく使う移動手段（洋服、家電等の買物）】



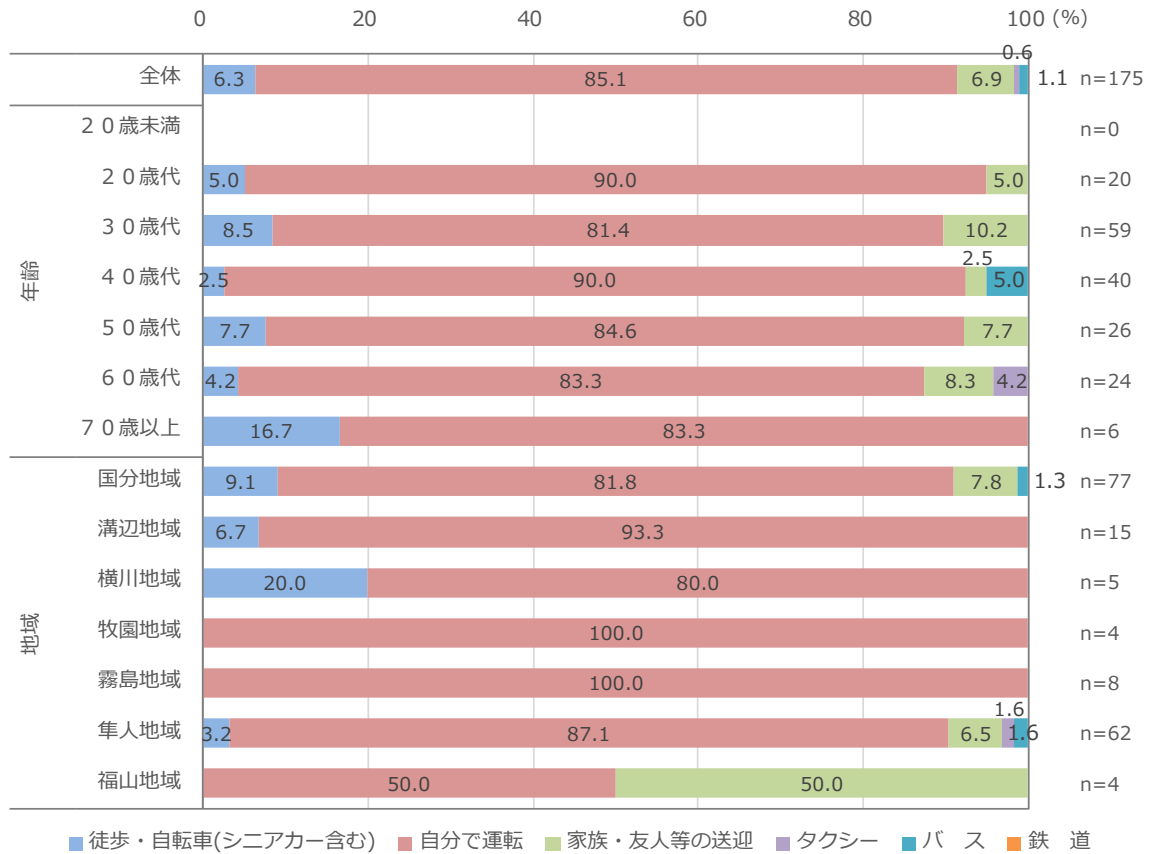
### 【よく使う移動手段（かかりつけ医への通院）】



### 【よく使う移動手段（介護・福祉施設の利用）】

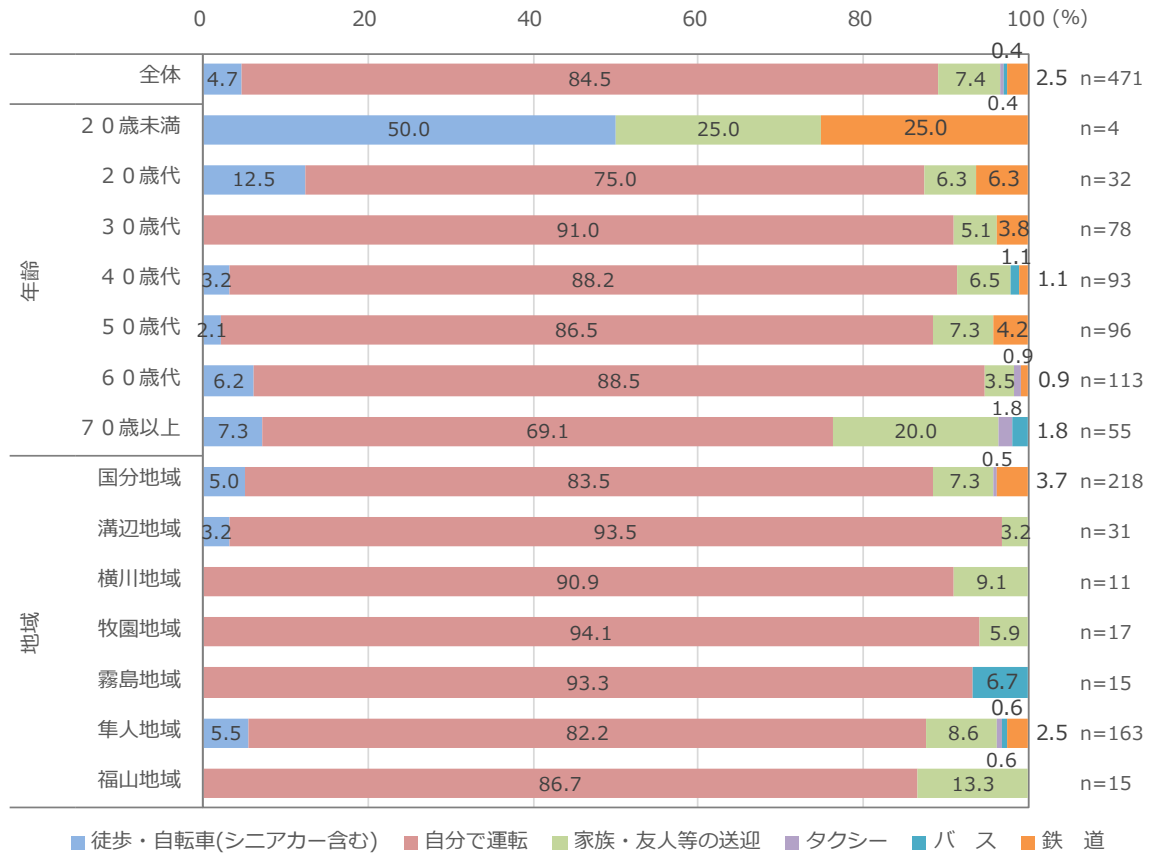


### 【よく使う移動手段（保育所・託児所等の利用）】





### 【よく使う移動手段（余暇・レクリエーション・文化活動）】

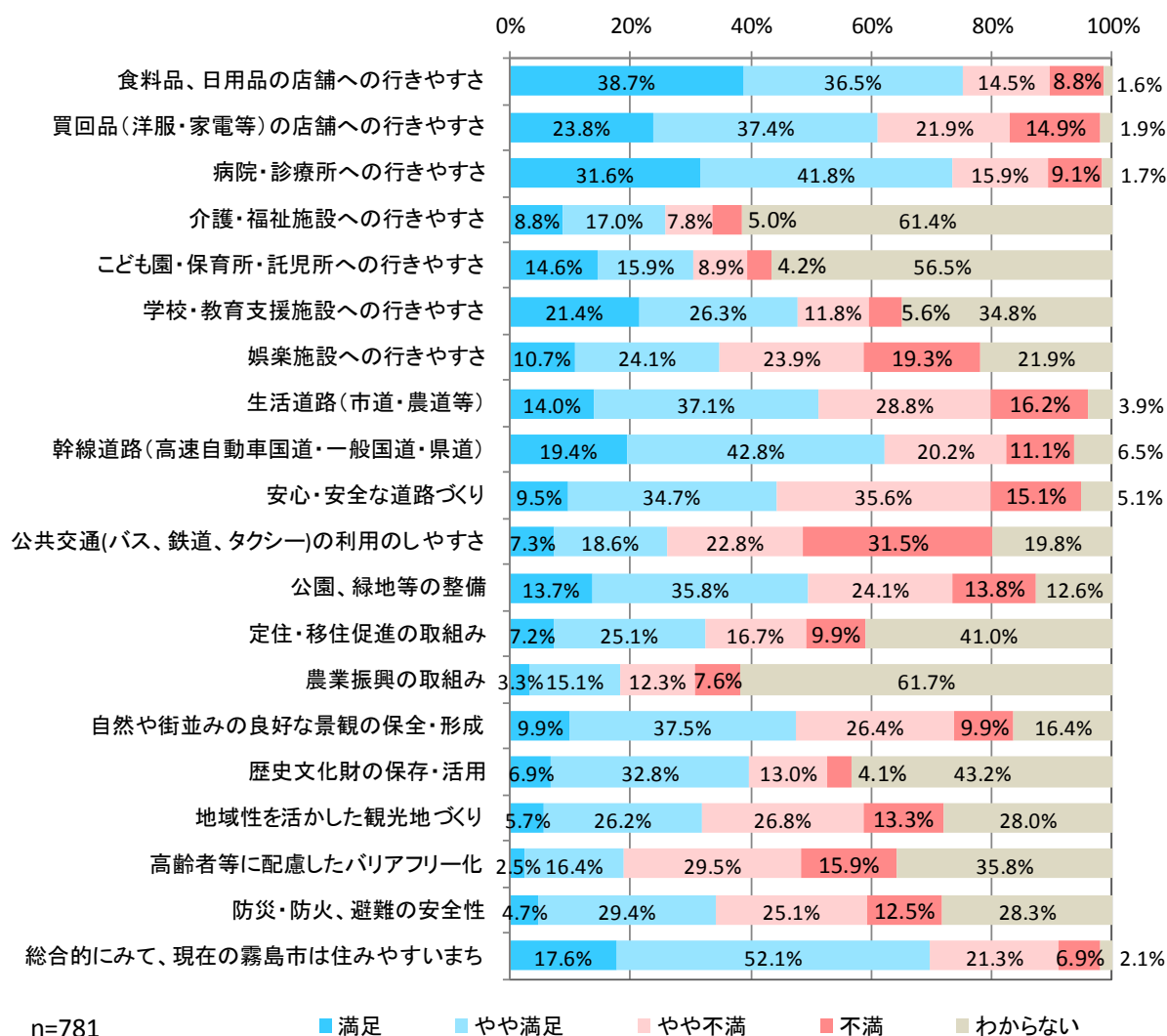


問5. お住まいの地域での暮らしやすさや居住環境について、どのようにお考えですか？現在の満足度について、あてはまる番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

【満足度：割合（全体）】

・総合的な住みやすさでは、「満足」「やや満足」の合計は69.7%で、7割の方が満足と回答。

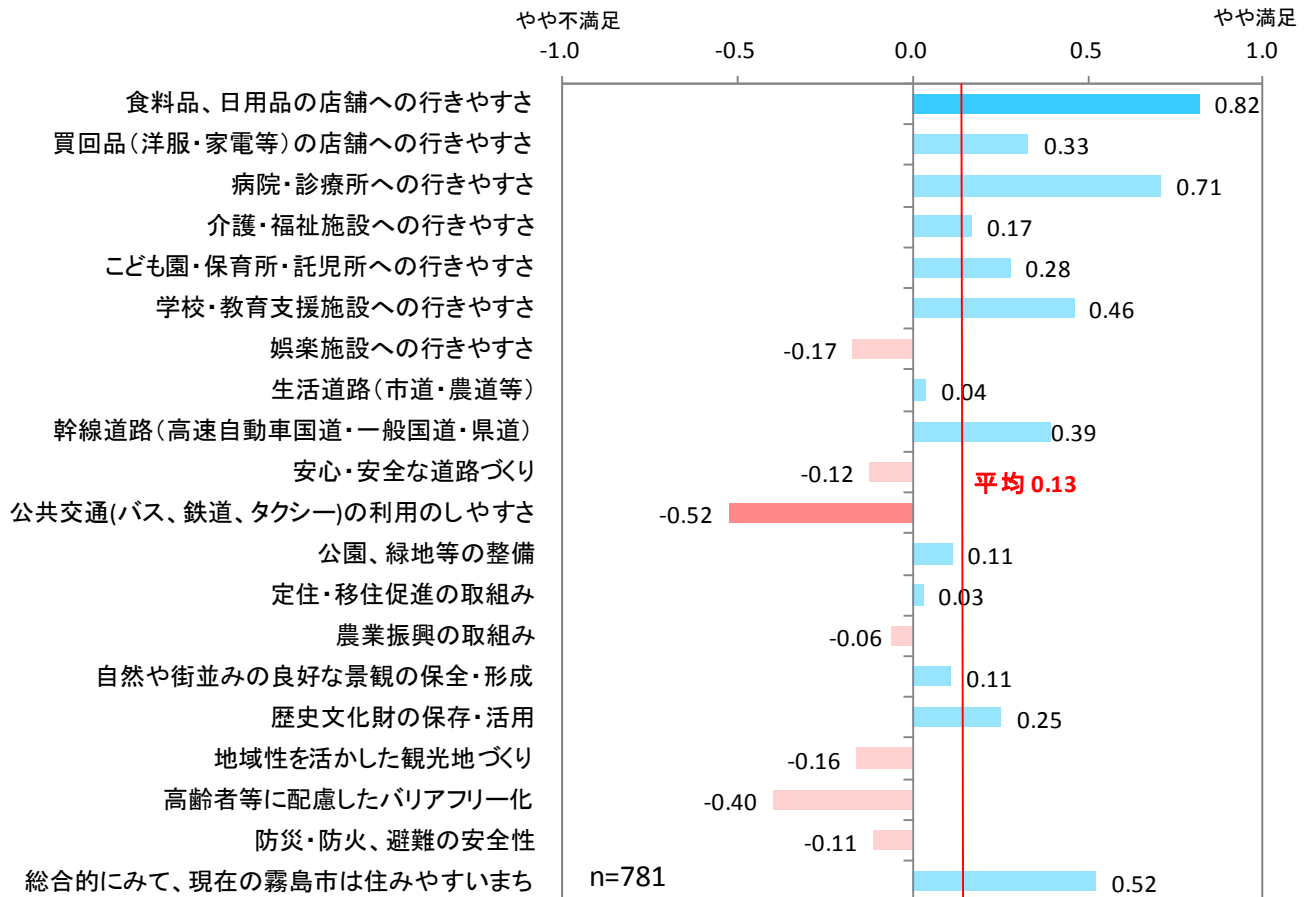
お住まいの地域での暮らしやすさや居住環境の満足度



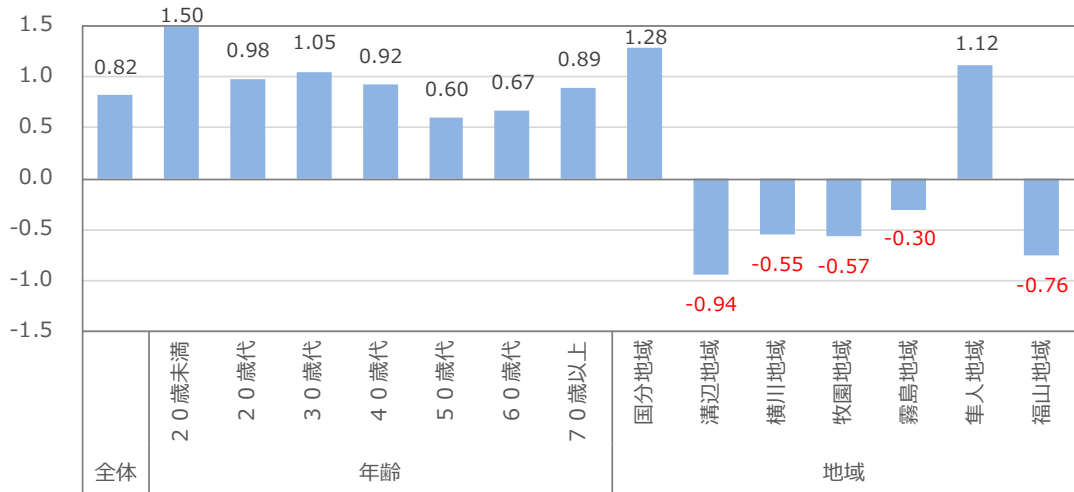
### 【満足度：ポイント（全体）】

「満足」+2点、「やや満足」+1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点とし、各点に構成比を掛けた合計点を満足度として算出した。

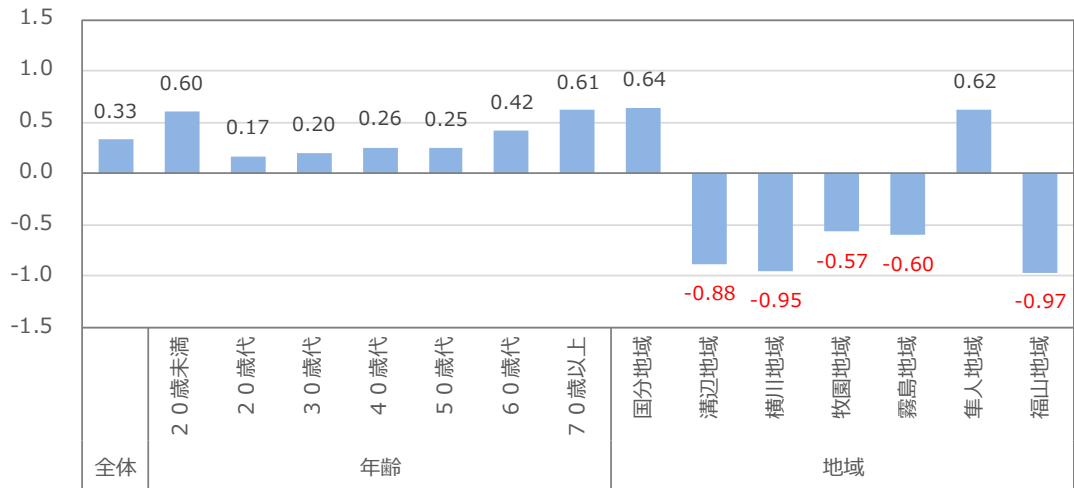
- ・満足度が高いのは、1位：食料品・日用品（0.82）、2位：病院・診療所（0.71）、学校・教育支援施設（0.46）の順。
- ・満足度の低いのは、1位：公共交通（-0.52）、2位：高齢者等に配慮したバリアフリー（-0.40）、3位：娯楽施設（-0.17）の順。地域性を活かした観光地づくり（-0.16）も低い。



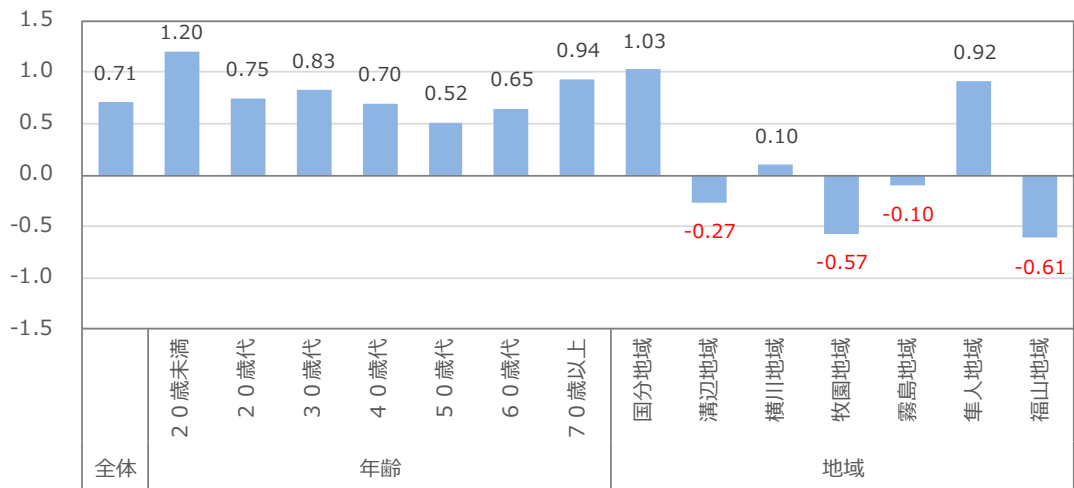
【満足度：ポイント（食料品、日用品の店舗への行きやすさ）】



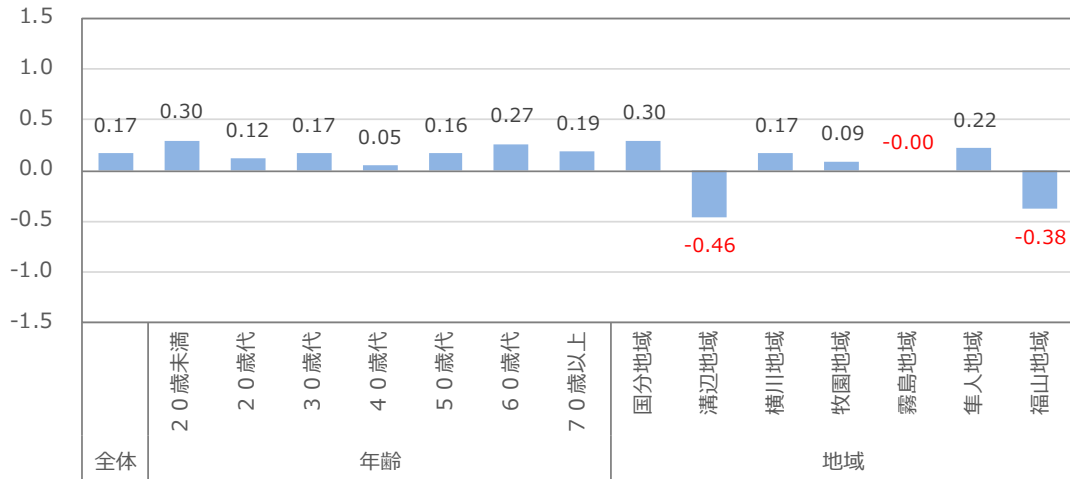
【満足度：ポイント（買回品（洋服・家電等）の店舗への行きやすさ）】



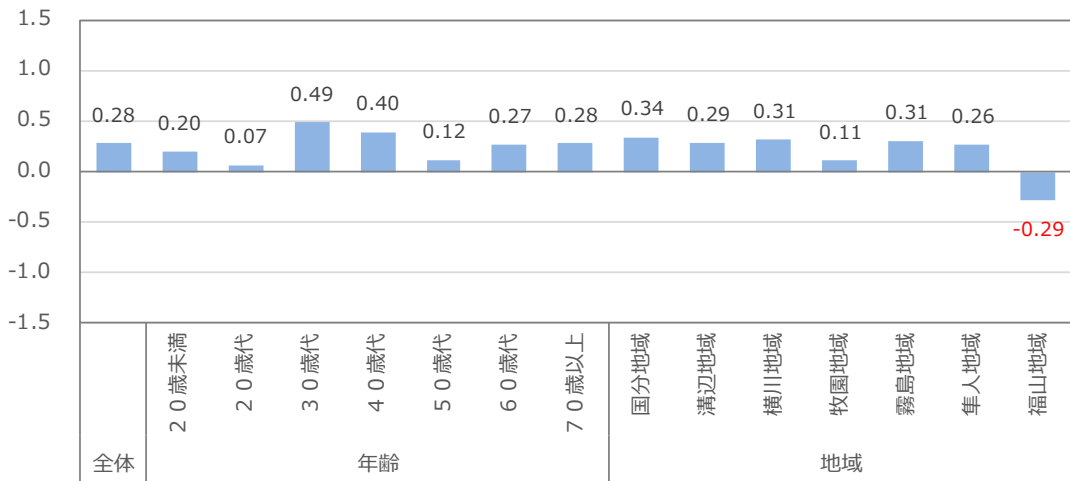
【満足度：ポイント（病院・診療所への行きやすさ）】



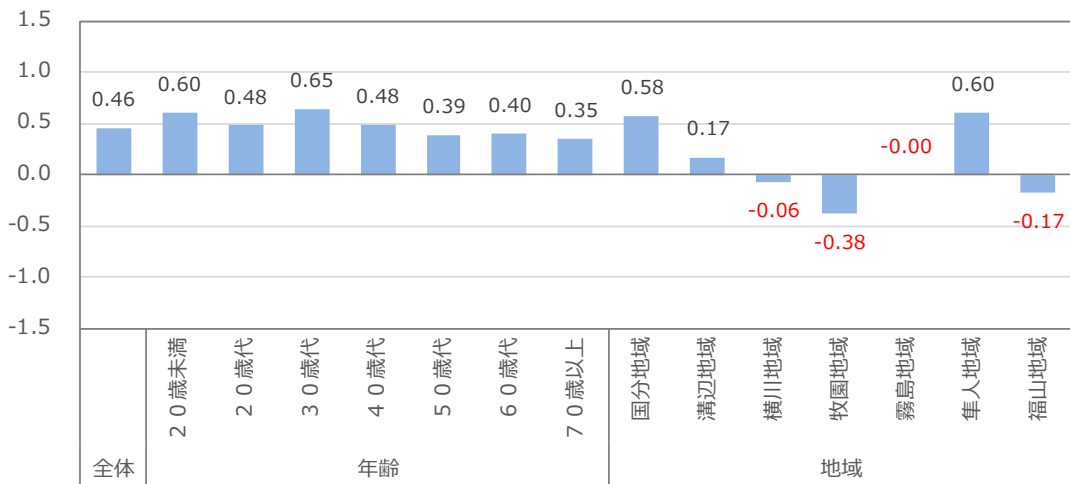
【満足度：ポイント（介護・福祉施設への行きやすさ）】



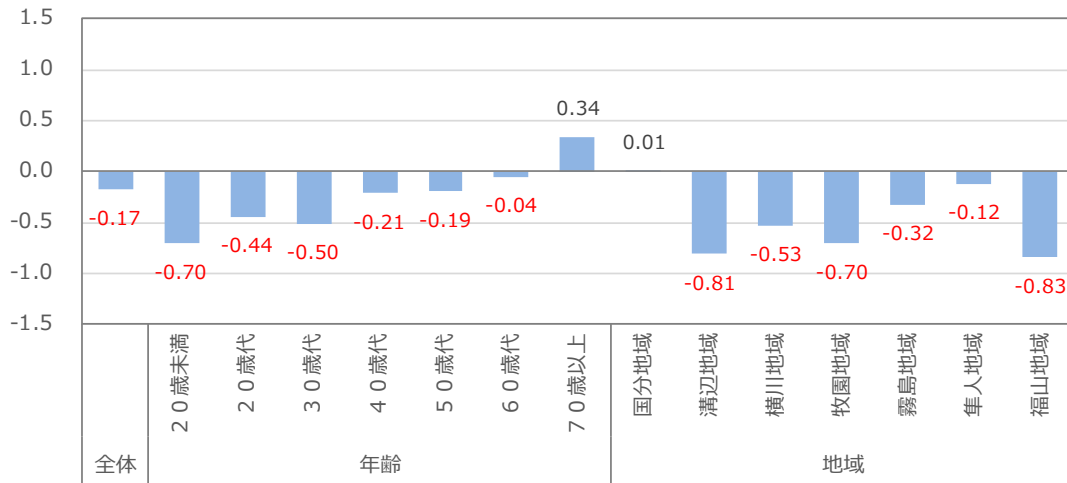
【満足度：ポイント（こども園・保育所・託児所への行きやすさ）】



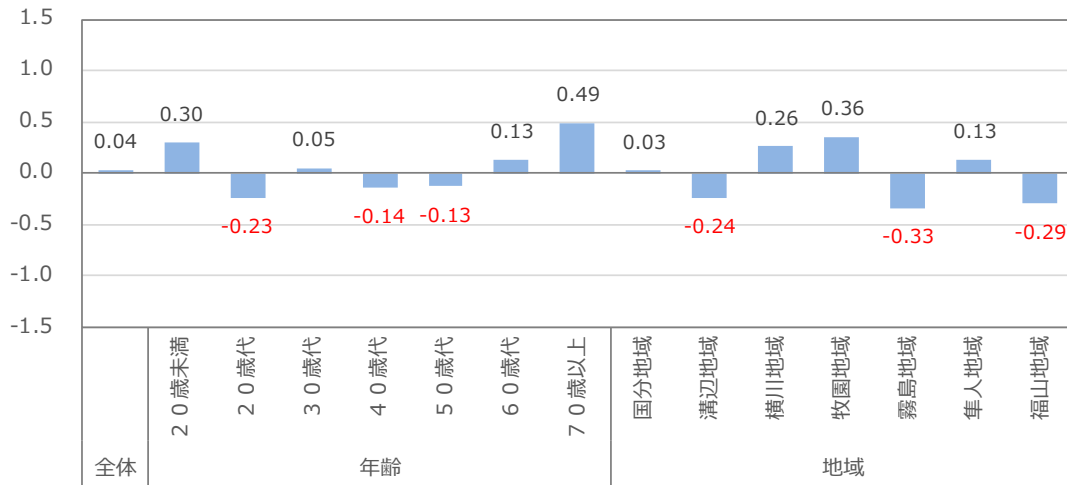
【満足度：ポイント（学校・教育支援施設への行きやすさ）】



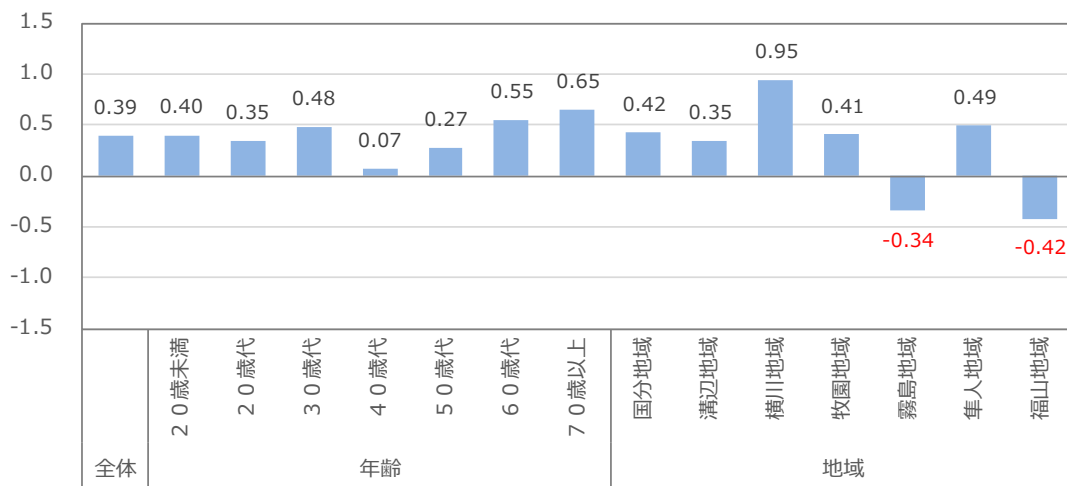
【満足度：ポイント（娯楽施設への行きやすさ）】



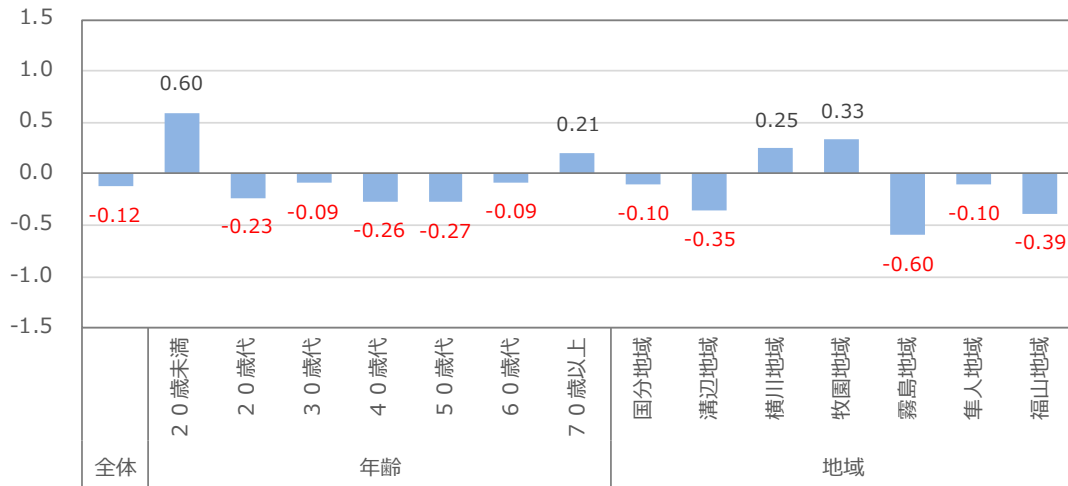
【満足度：ポイント（生活道路（市道・農道等））】



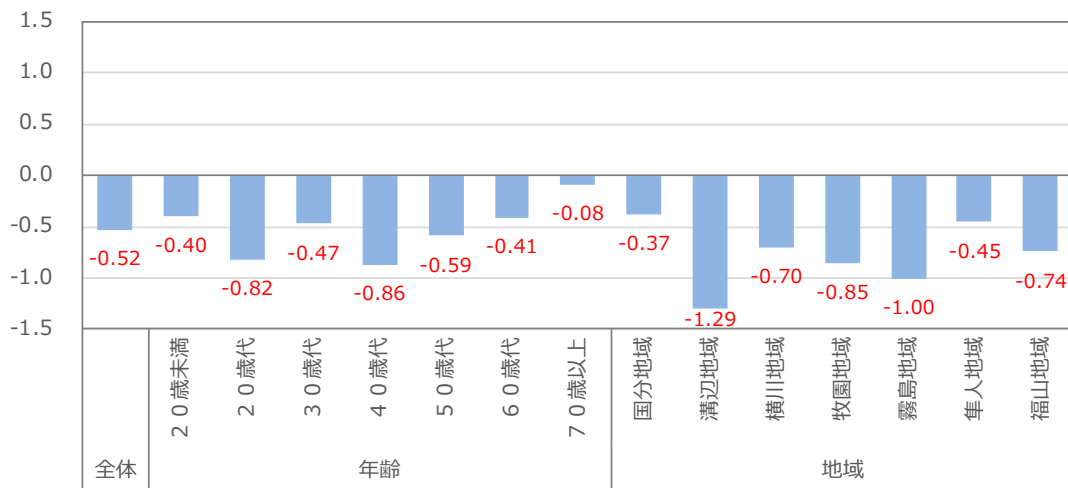
【満足度：ポイント（幹線道路（高速自動車国道・一般国道・県道））】



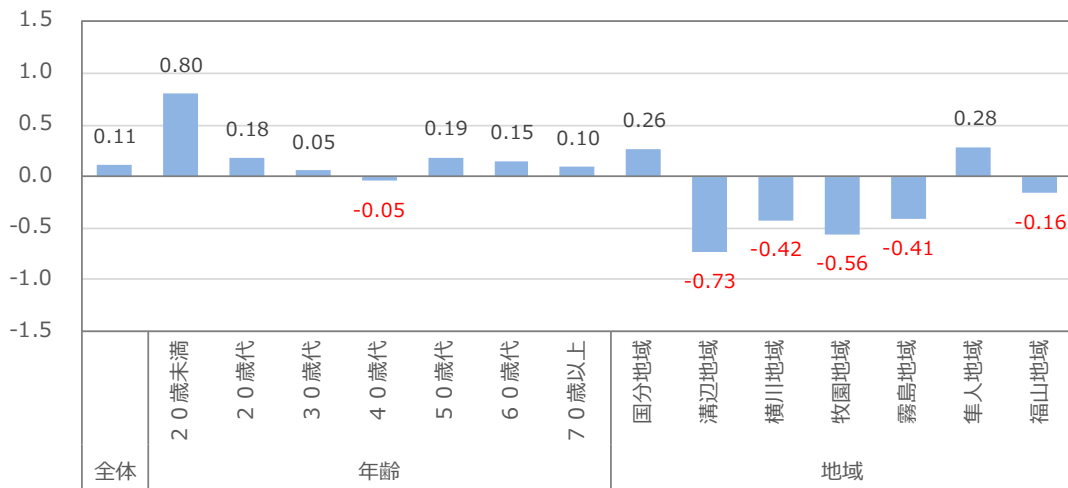
【満足度：ポイント（安心・安全な道路づくり）】



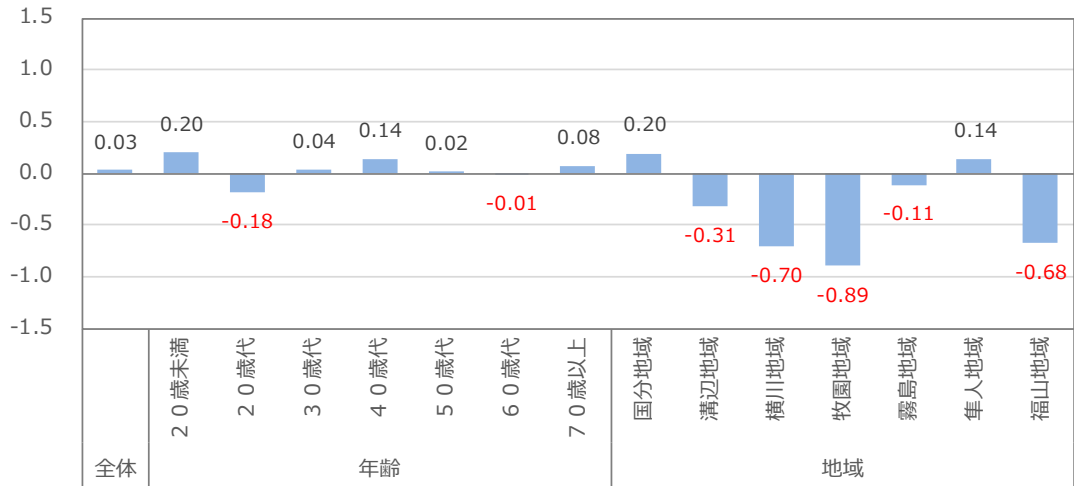
【満足度：ポイント（公共交通（バス、鉄道、タクシー）の利用のしやすさ）】



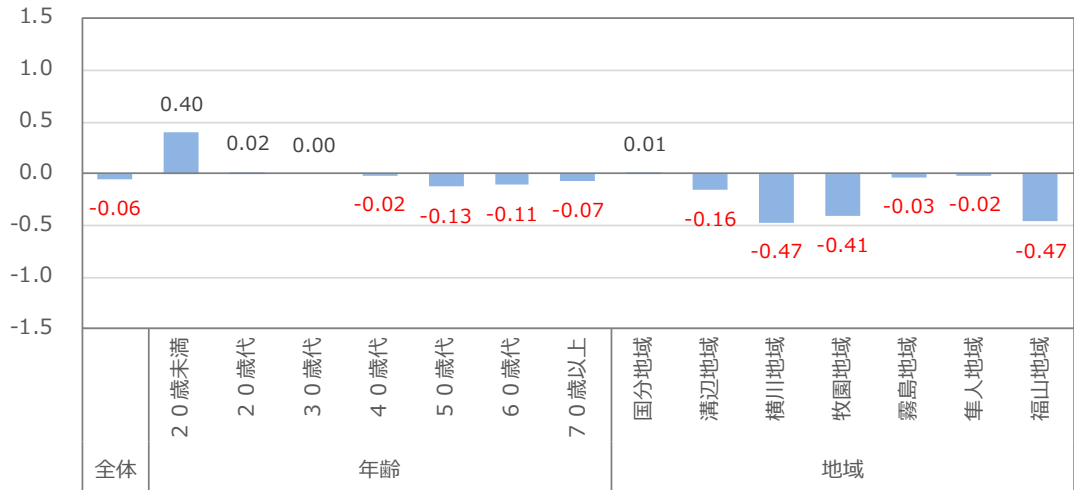
【満足度：ポイント（公園、緑地等の整備）】



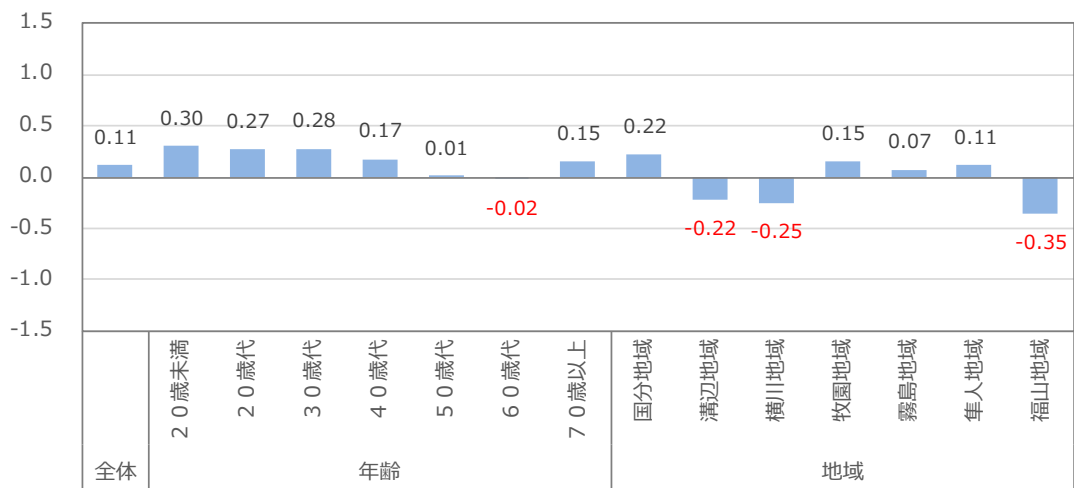
【満足度：ポイント（定住・移住促進の取組み）】



【満足度：ポイント（農業振興の取組み）】

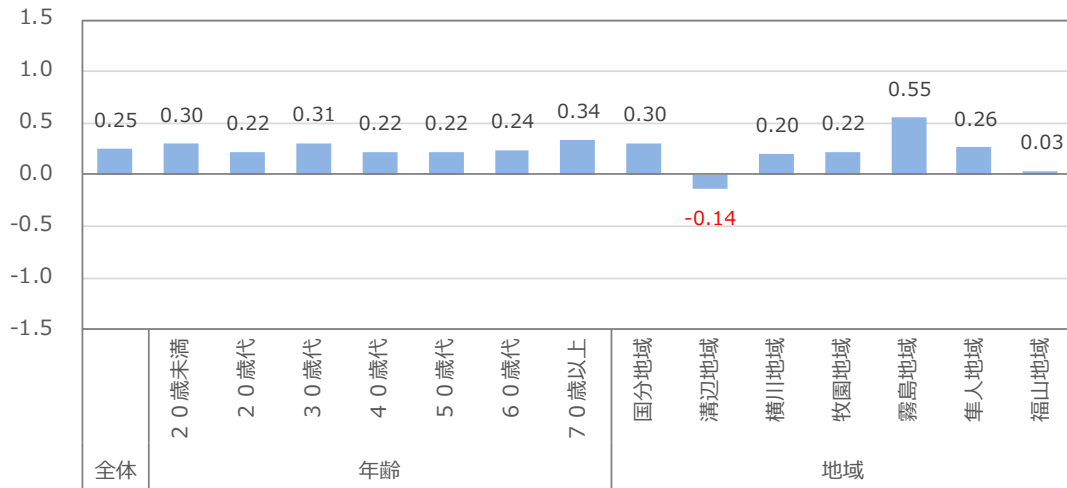


【満足度：ポイント（自然や街並みの良好な景観の保全・形成）】

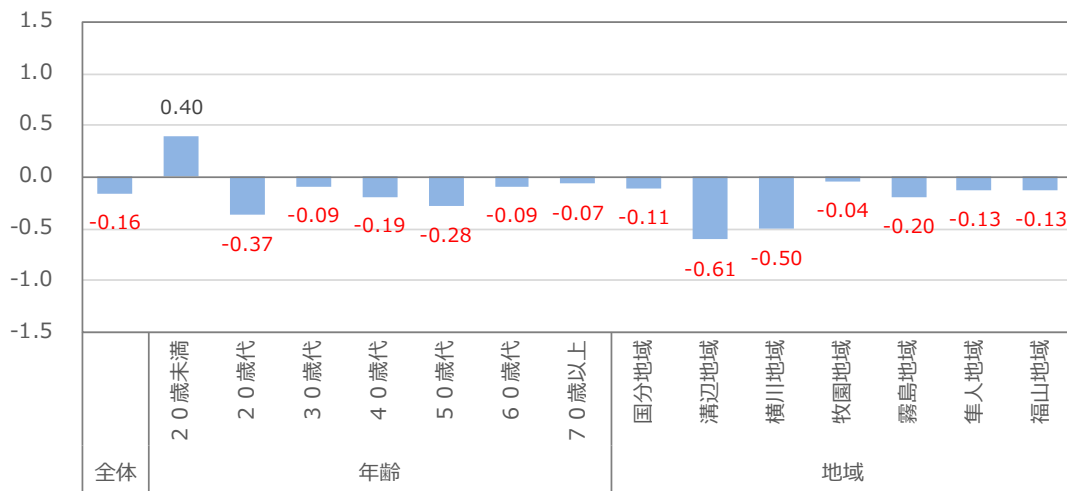




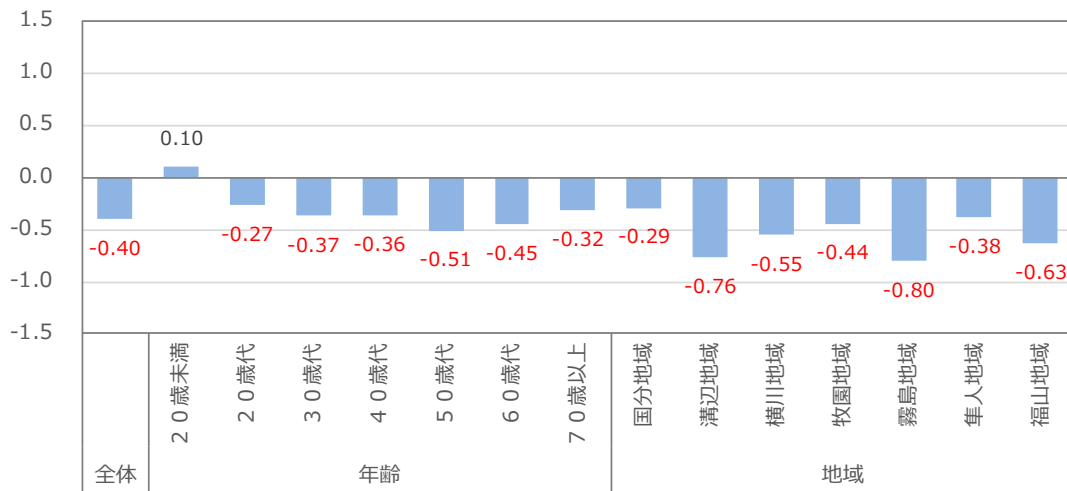
【満足度：ポイント（歴史文化財の保存・活用）】



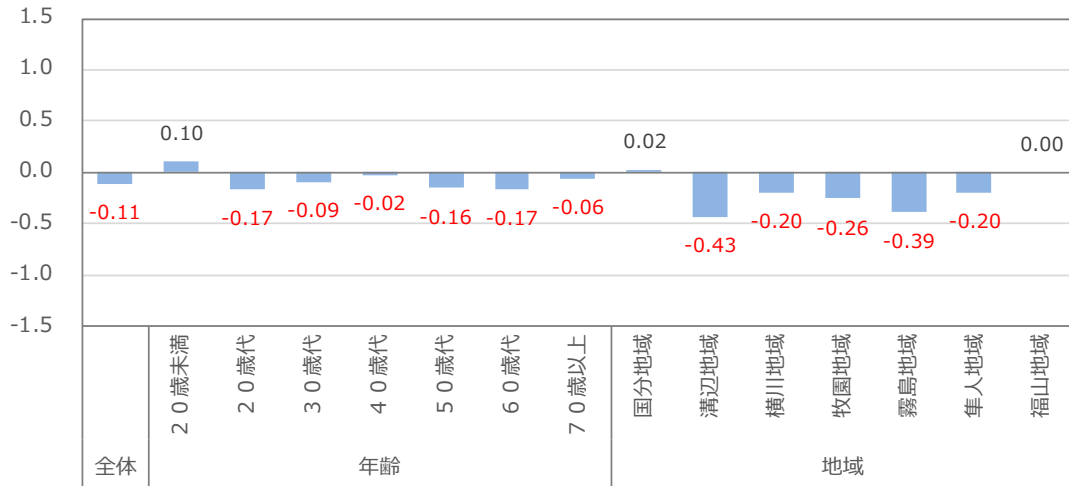
【満足度：ポイント（地域性を活かした観光地づくり）】



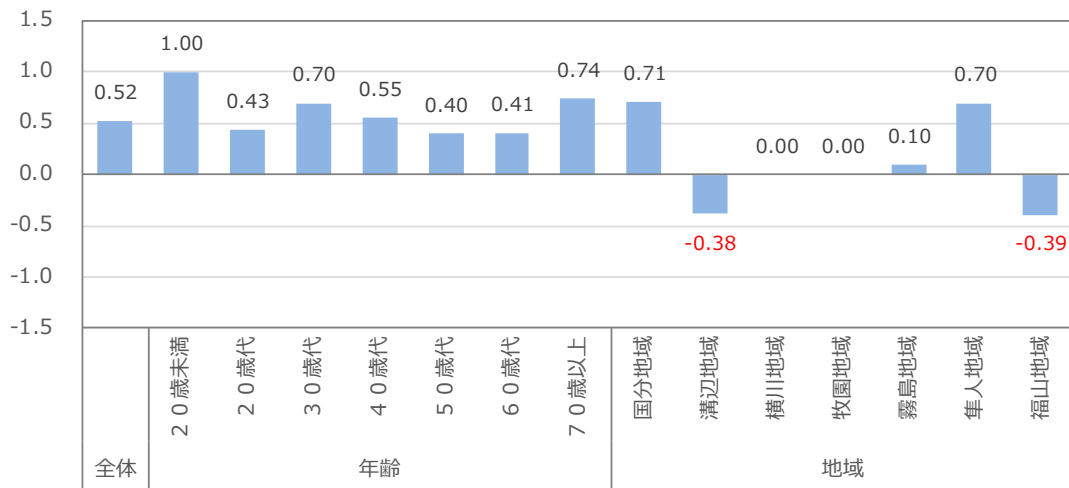
【満足度：ポイント（高齢者等に配慮したバリアフリー化）】



【満足度：ポイント（防災・防火、避難の安全性）】



【満足度：ポイント（総合的にみて、現在の霧島市が住みやすいまちだと思う）】

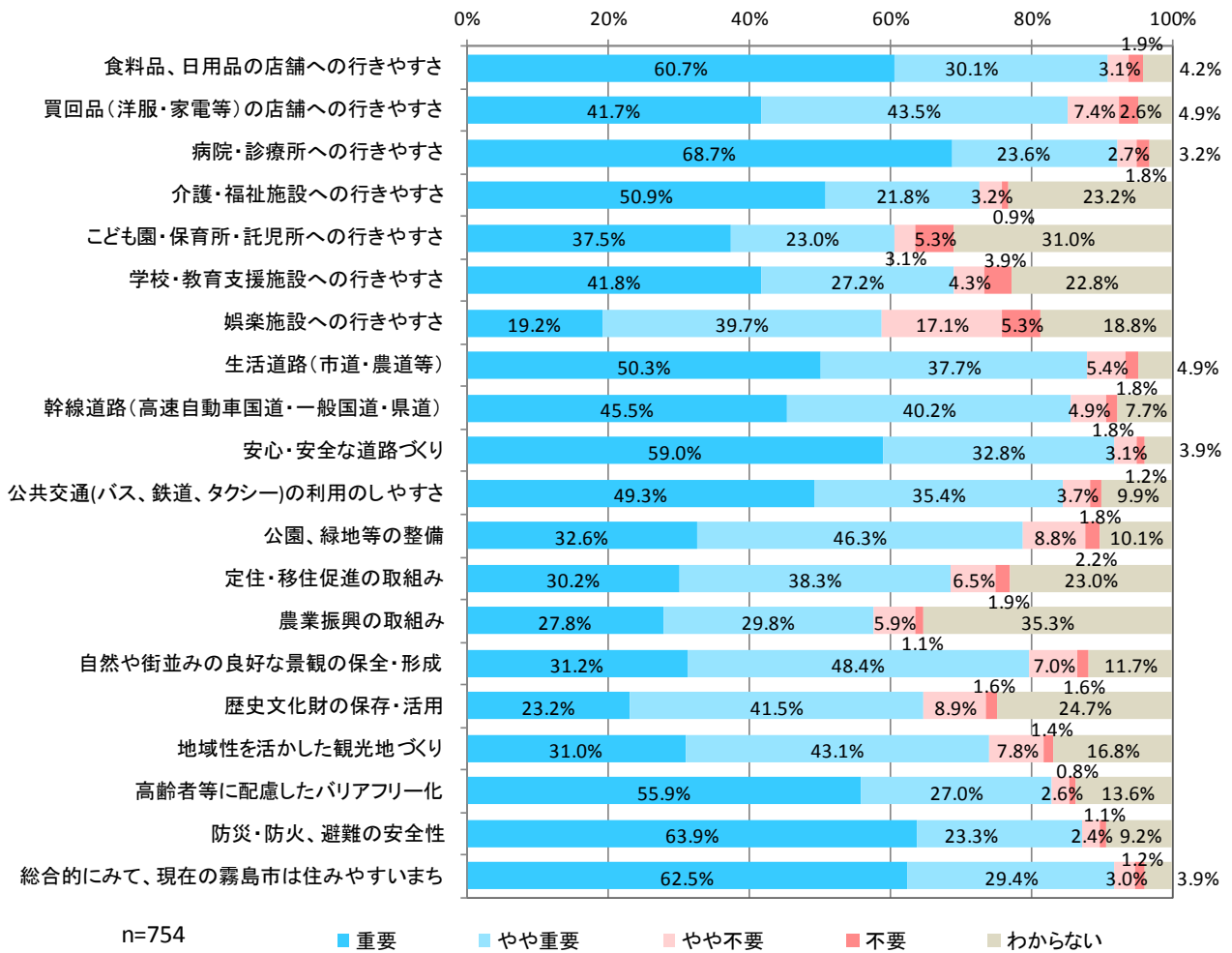


問5. お住まいの地域での暮らしやすさや居住環境について、どのようにお考えですか？将来の重要度について、あてはまる番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

【重要度：割合（全体）】

・最も多く「重要」と回答したのは、1位：病院・医院への行きやすさ（68.7%）、2位：防災・防火、避難の安全性（63.9%）、3位：安心・安全な道路づくり（59.0%）で、安心・安全面を優先する結果となった。

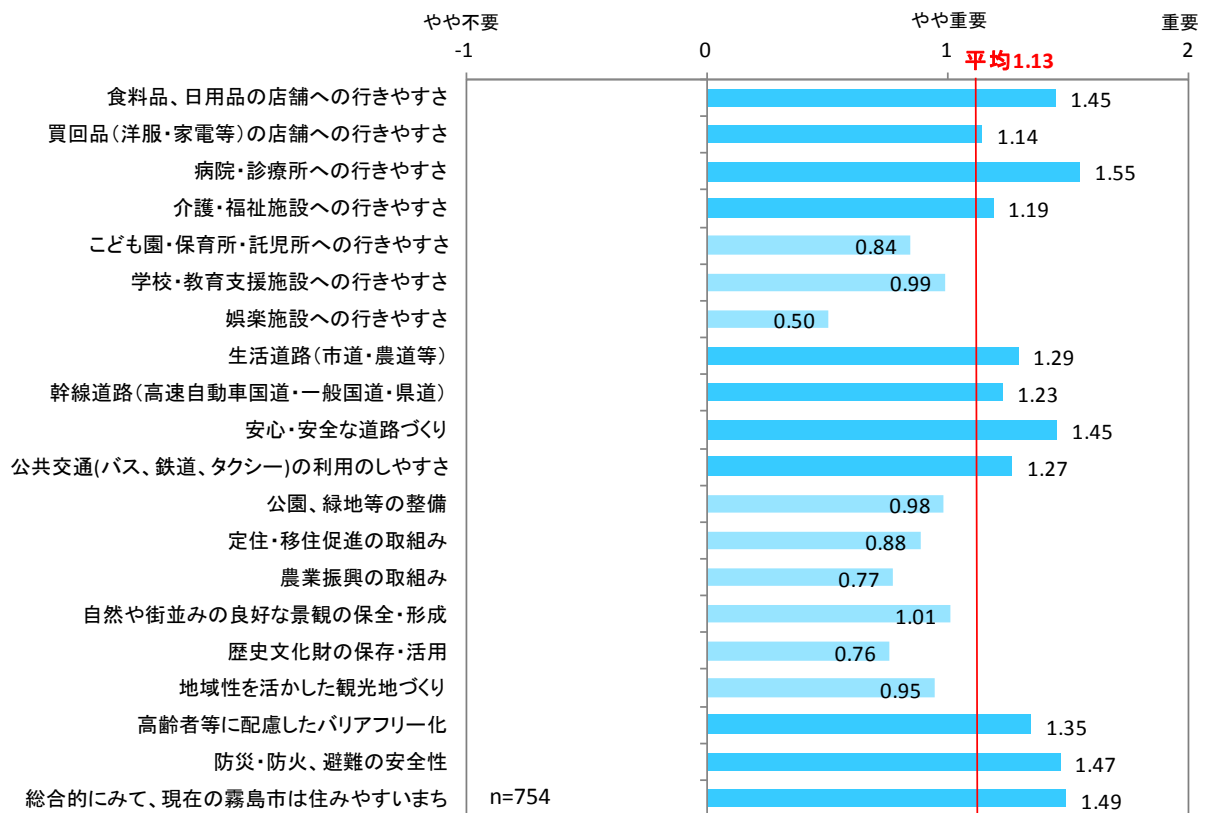
お住まいの地域での暮らしやすさや居住環境の重要度



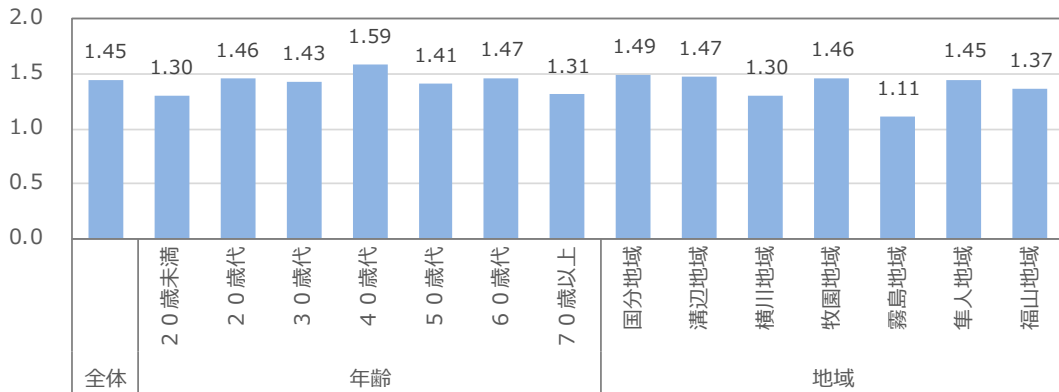
### 【重要度：ポイント（全体）】

「重要」+2点、「やや重要」+1点、「やや不要」-1点、「不要」-2点とし、各点に構成比を掛けた合計点を重要度として算出した。

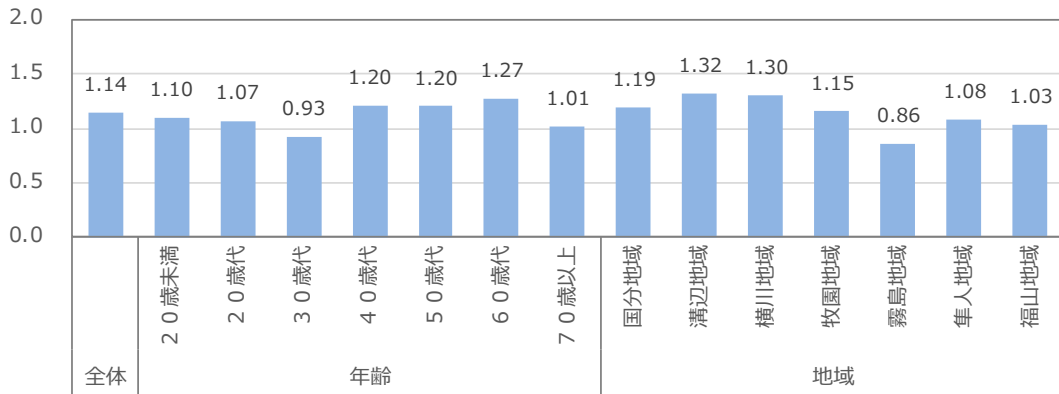
- ・総合面を除き、重要度が高いのは、1位：病院・診療所の行きやすさ（1.55）、2位：防災・防火、避難の安全性（1.47）、3位：食料品、日用品の店舗への行きやすさ、安心・安全な道路づくり（1.45）の順。
- ・重要度の低いのは、1位：娯楽施設への行きやすさ（0.50）、2位：歴史文化財の保存活用（0.76）、3位：農業振興の取組（0.77）の順。



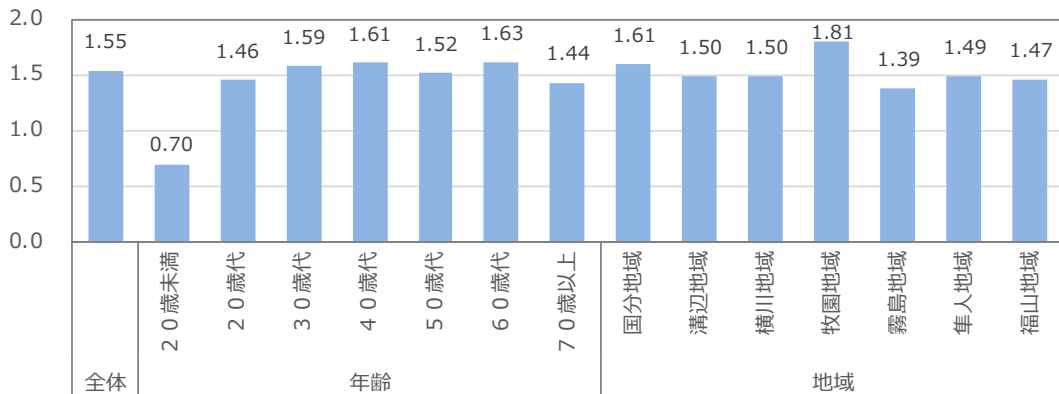
【重要度：ポイント（食料品、日用品の店舗への行きやすさ）】



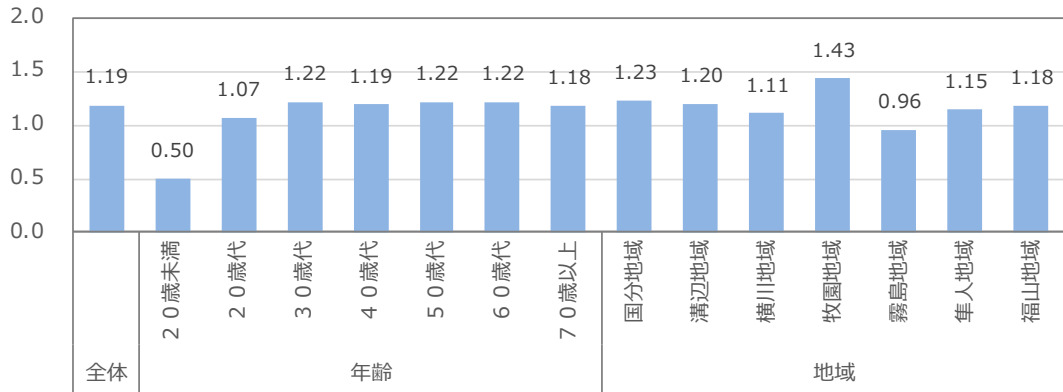
【重要度：ポイント（買回品（洋服・家電等）の店舗への行きやすさ）】



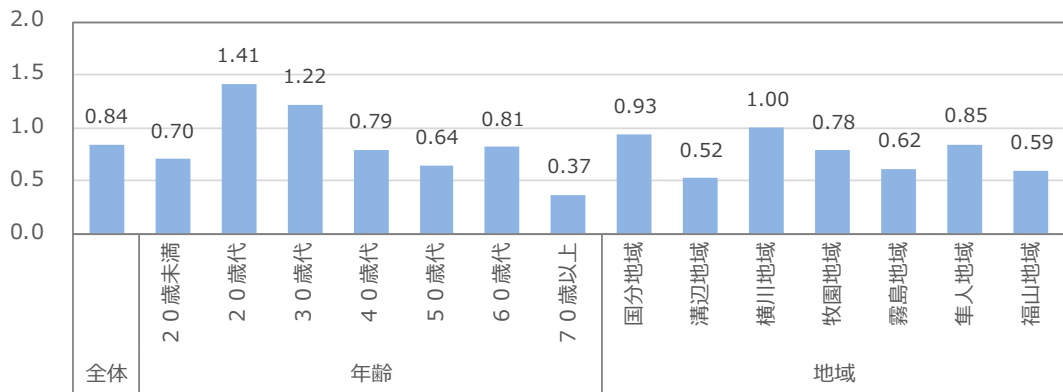
【重要度：ポイント（病院・診療所への行きやすさ）】



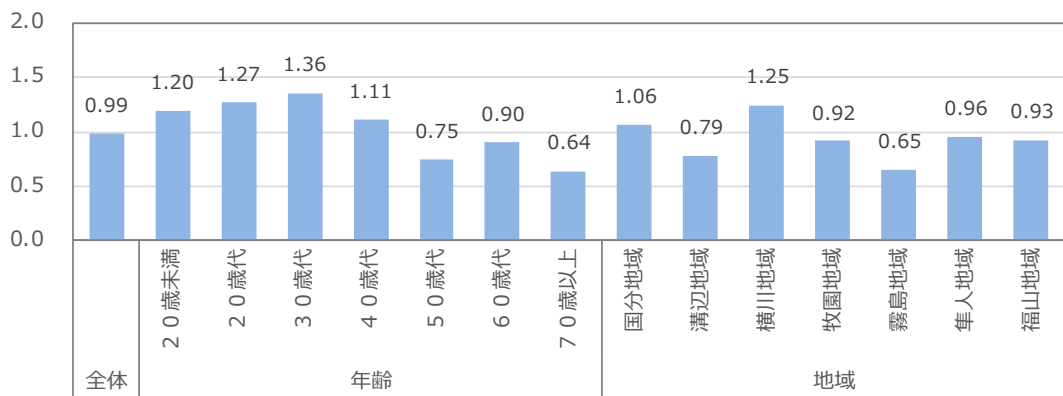
【重要度：ポイント（介護・福祉施設への行きやすさ）】



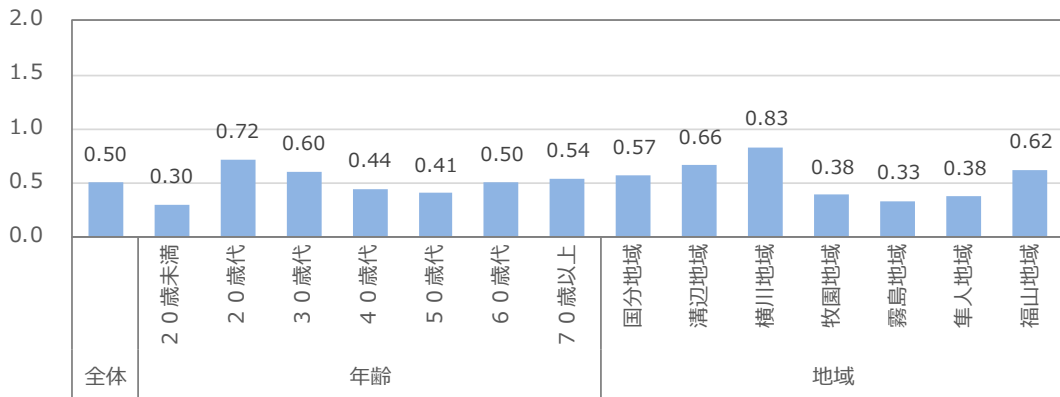
【重要度：ポイント（こども園・保育所・託児所への行きやすさ）】



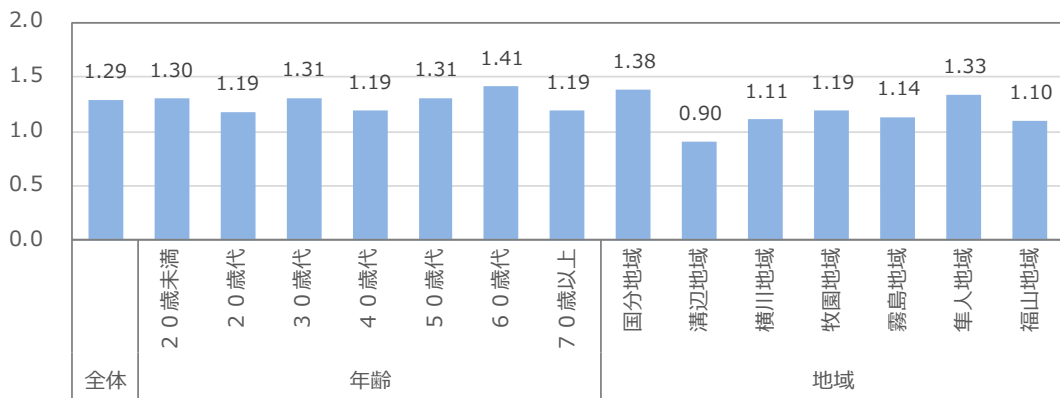
【重要度：ポイント（学校・教育支援施設への行きやすさ）】



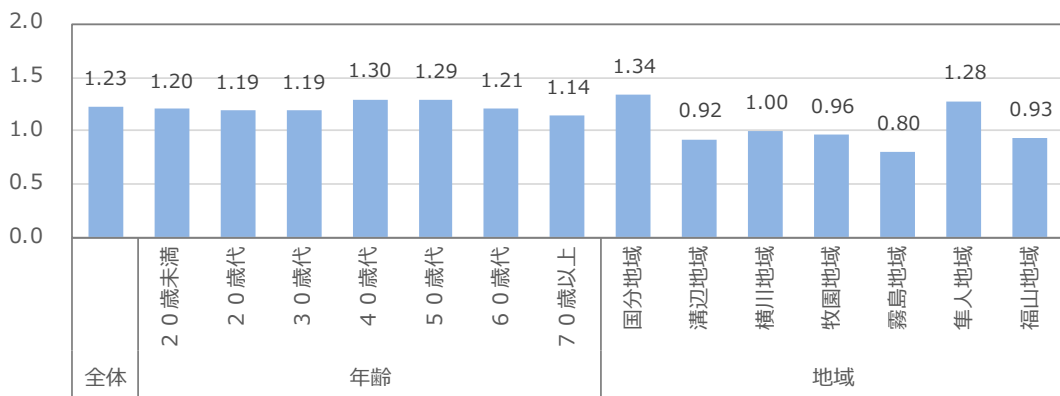
【重要度：ポイント（娯楽施設への行きやすさ）】



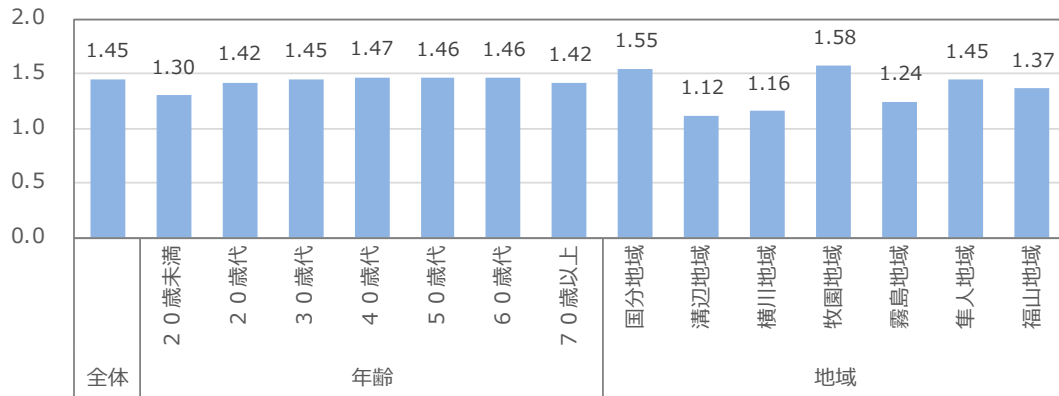
【重要度：ポイント（生活道路（市道・農道等））】



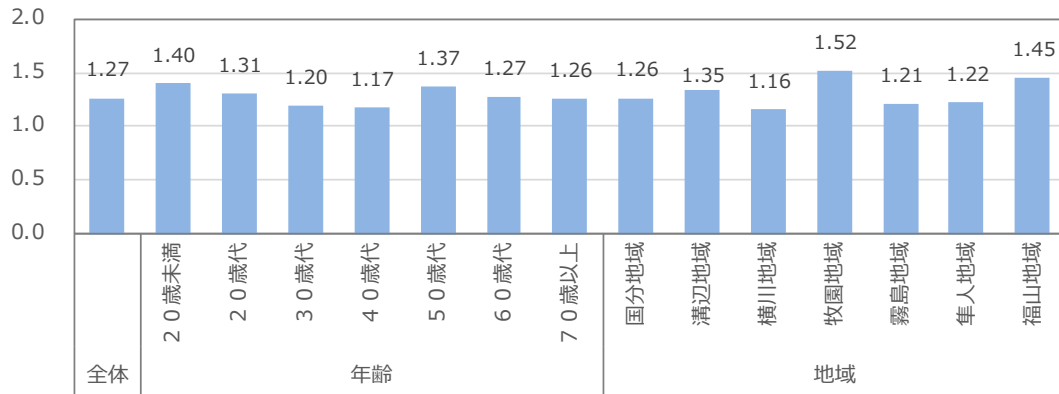
【重要度：ポイント（幹線道路（高速自動車国道・一般国道・県道））】



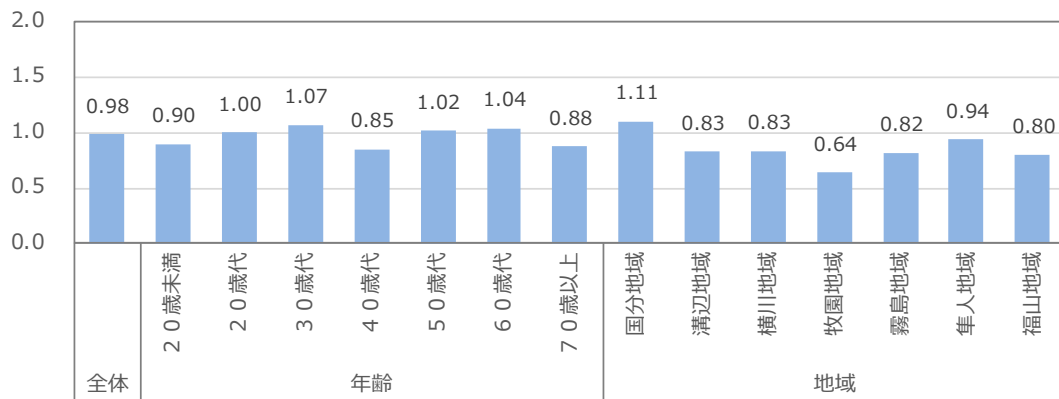
【重要度：ポイント（安心・安全な道路づくり）】



【重要度：ポイント（公共交通（バス、鉄道、タクシー）の利用のしやすさ）】

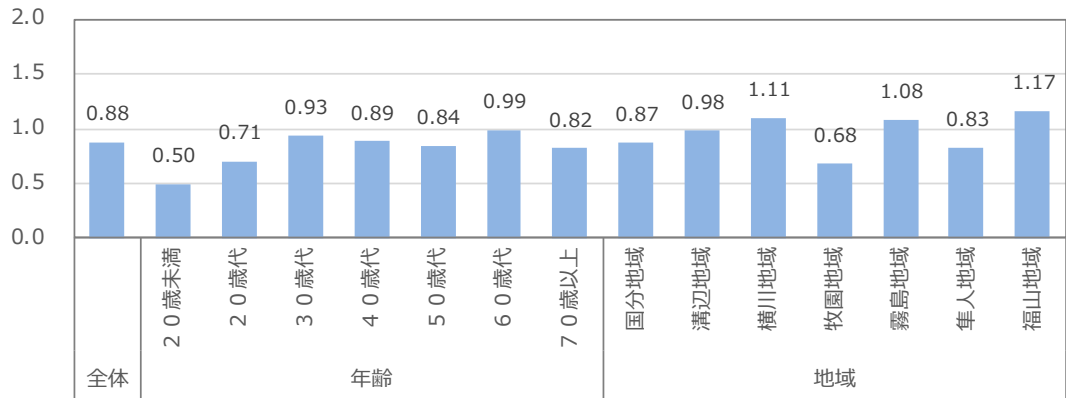


【重要度：ポイント（公園、緑地等の整備）】

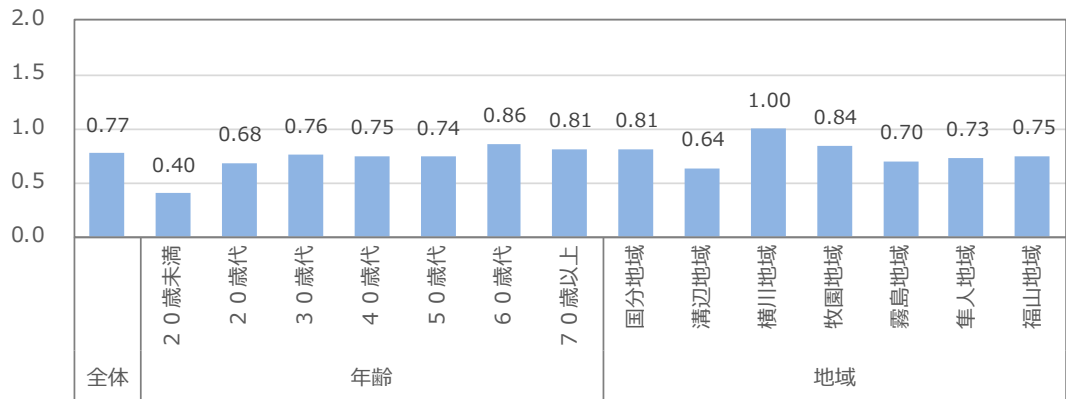




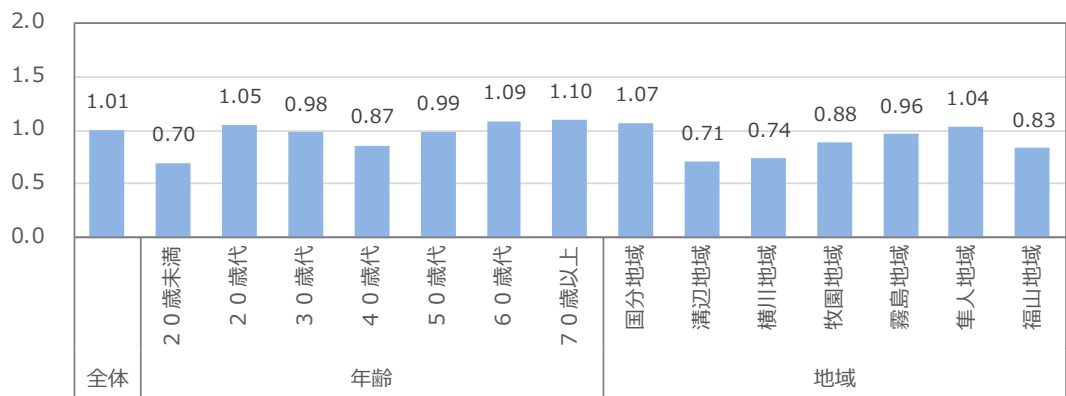
【重要度：ポイント（定住・移住促進の取組み）】



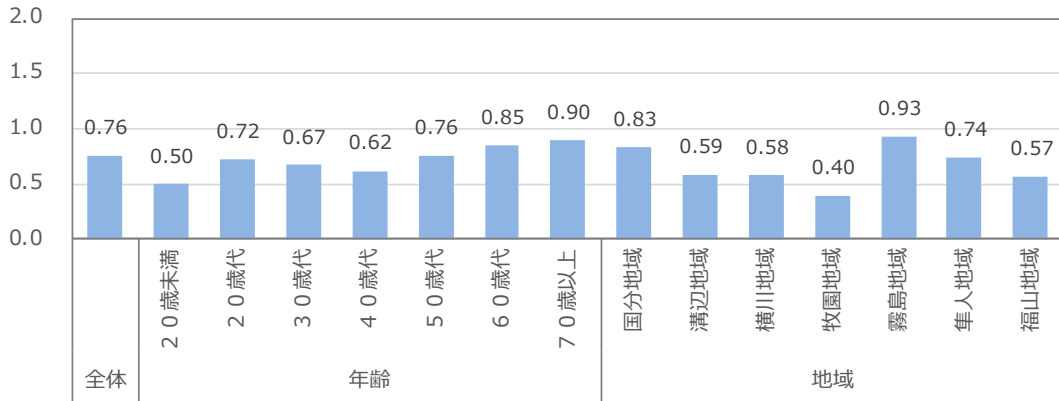
【重要度：ポイント（農業振興の取組み）】



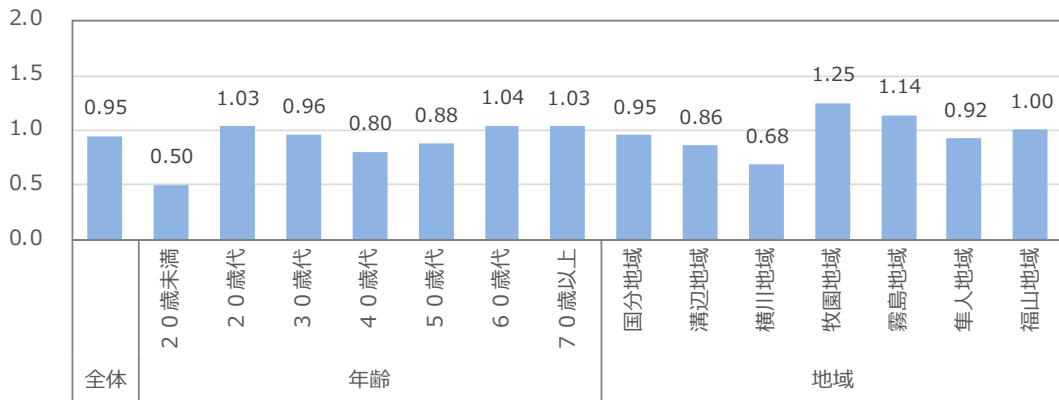
【重要度：ポイント（自然や街並みの良好な景観の保全・形成）】



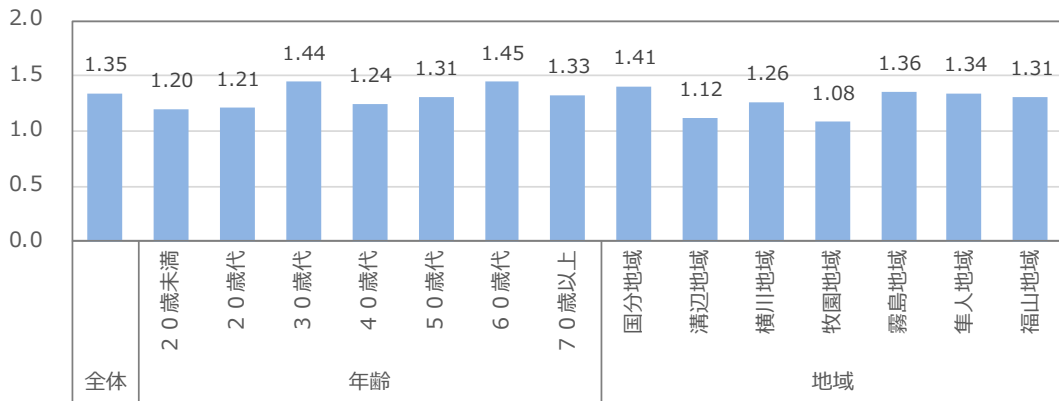
【重要度：ポイント（歴史文化財の保存・活用）】



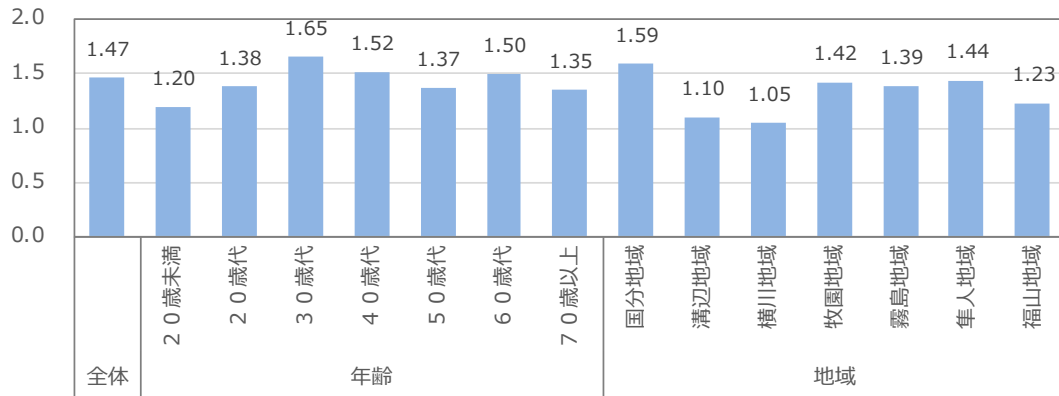
【重要度：ポイント（地域性を活かした観光地づくり）】



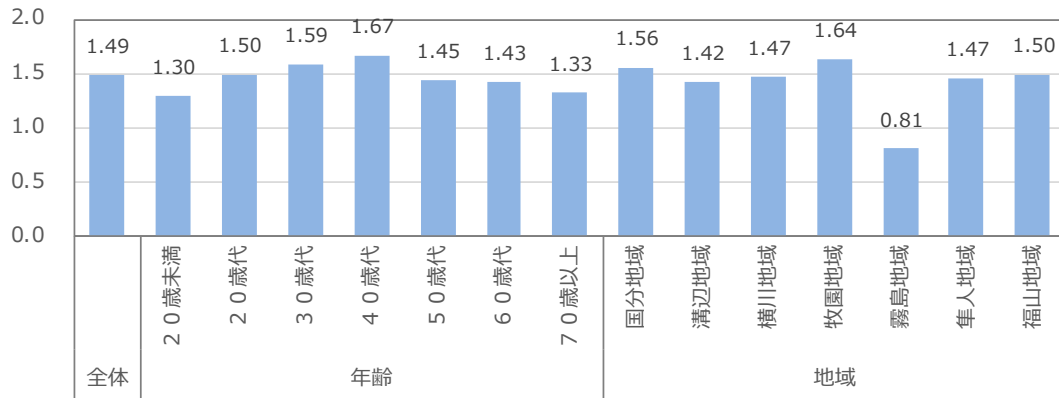
【重要度：ポイント（高齢者等に配慮したバリアフリー化）】



【重要度：ポイント（防災・防火、避難の安全性）】



【重要度：ポイント（総合的にみて、現在の霧島市が住みやすいまちだと思う）】



【満足度・重要度：ポイント（全体）】

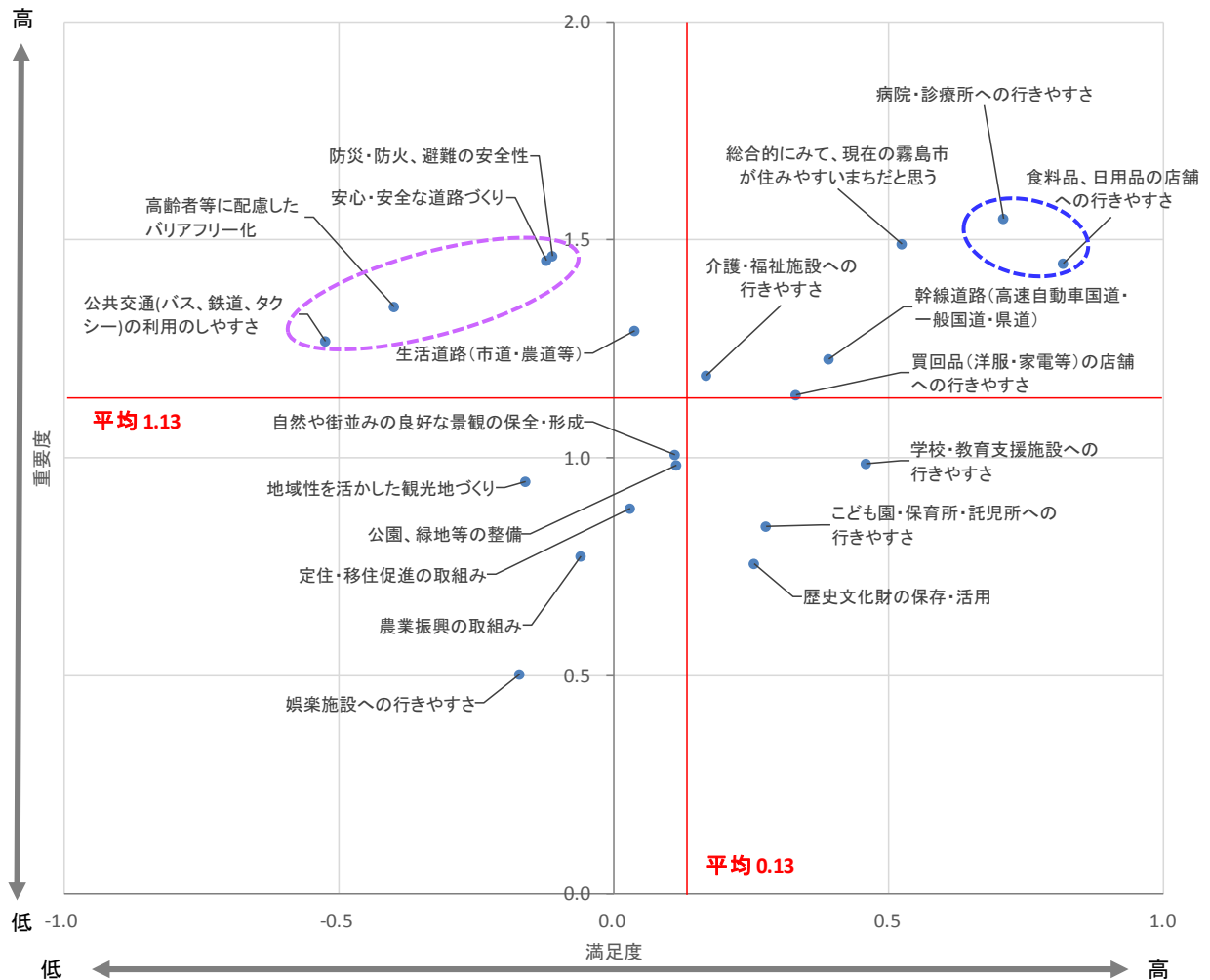
・満足度を横軸、重要度を縦軸にとり、各選択肢をプロットしてみると、以下の分散図となった。

**<相対的に満足度が低く、重要度が高いもの>**

- 防災・防火、避難の安全性
- 安心、安全な道路づくり
- 高齢者等に配慮したバリアフリー化
- 公共交通の利用のしやすさ

**<相対的に満足度が高く、重要度も高いもの>**

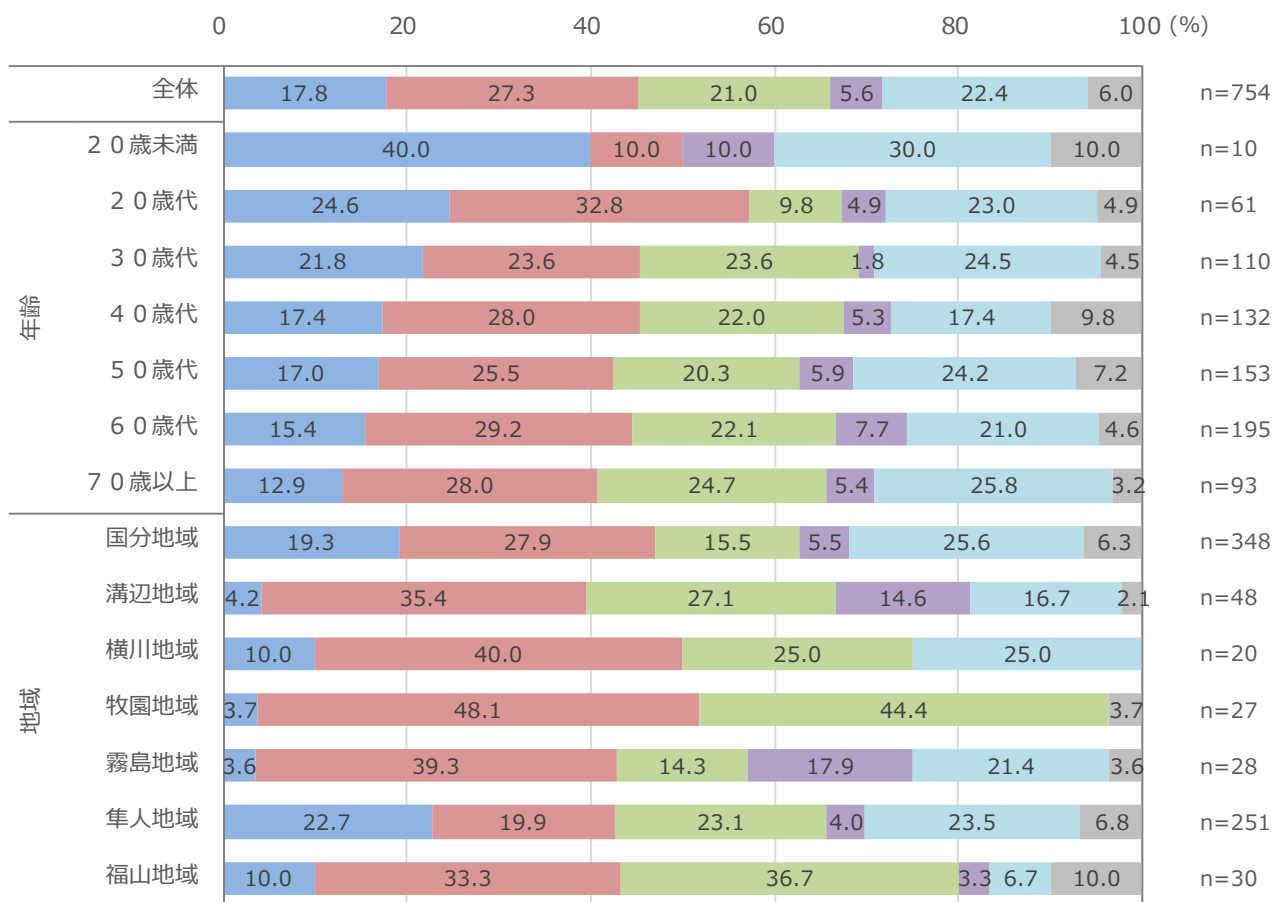
- 食料品、日用品の店舗への行きやすさ
- 病院・診療所への行きやすさ



問6. これからの住宅地について、どのような取組が重要と思いますか。お考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

<住宅地において重要な取組>

- ・全体では、  
第1位：「市街地地域・地域拠点（各総合支所等の地区）の周辺に住宅地を誘導」（27.3%）  
第2位：「住宅地は今のままで、新たな住宅用地をつくらない」（22.4%）  
第3位：「市街地地域・地域拠点から離れた丘陵地や農地に住宅地を誘導」（21.0%）  
の順で回答が多かった。
- ・年齢別では、若年層になるほど、市街地地域（JR国分駅・隼人駅周辺）への住宅建設を促す[まちなか居住]への回答が高なる。
- ・牧園や福山の2地域では、市街地地域・地域拠点から離れた丘陵地や農地に住宅地を誘導するとの回答が4割前後あり、地域の地理的条件や施設立地状況に配慮した誘導が必要であることがうかがわれる。

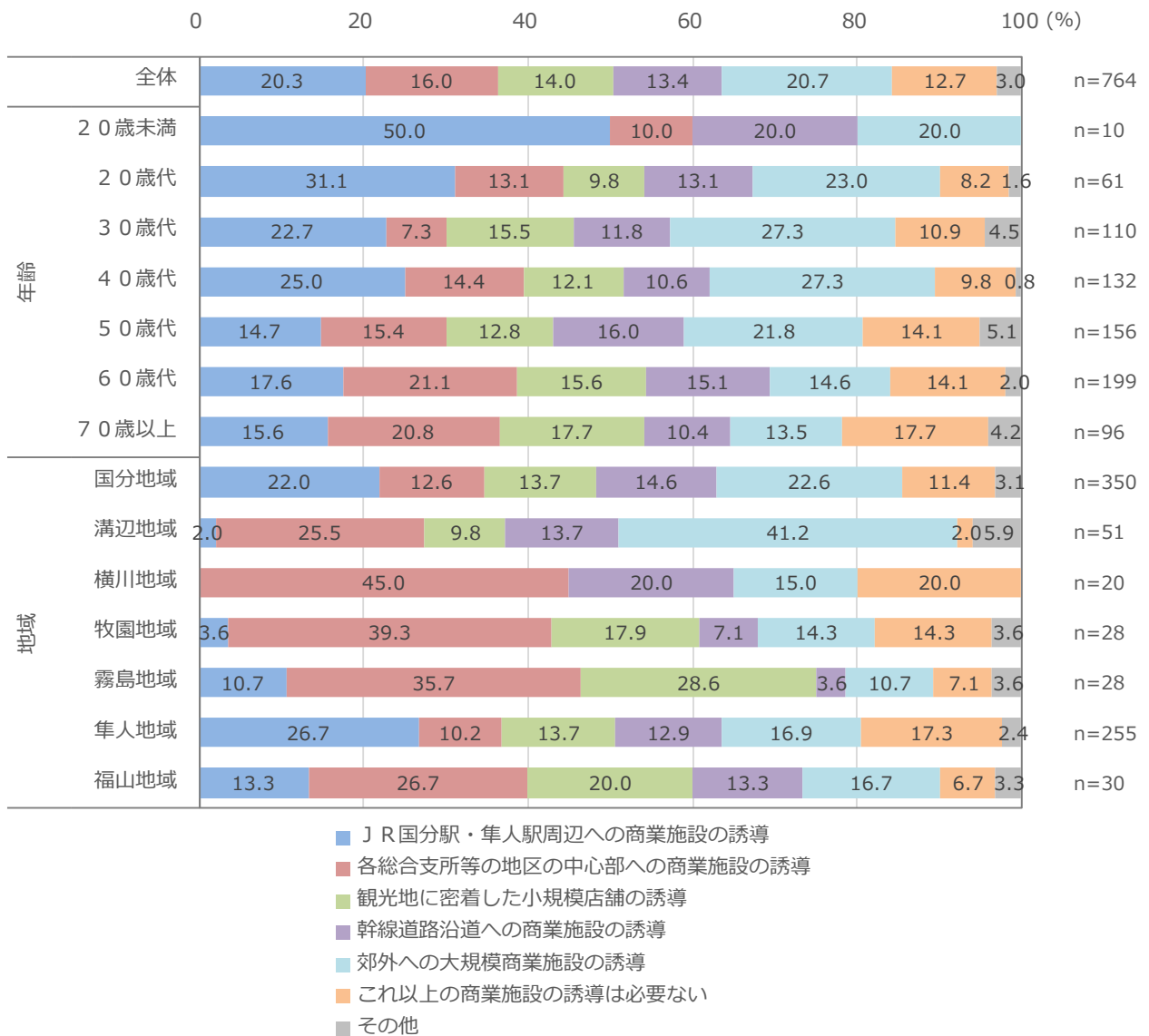


- 市街地地域（JR国分駅・隼人駅周辺）へ住宅建設を促す[まちなか居住の促進]
- 市街地地域・地域拠点（各総合支所等の地区）の周辺に住宅地を誘導する
- 市街地地域・地域拠点から離れた丘陵地や農地に住宅地を誘導する
- 国道や県道など幹線道路沿いに住宅地を誘導する
- 住宅地は今のままで、新たな住宅用地をつくらない
- その他

問7. これからの商業地について、どのような取組が重要と思いますか。お考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

＜商業地において重要な取組＞

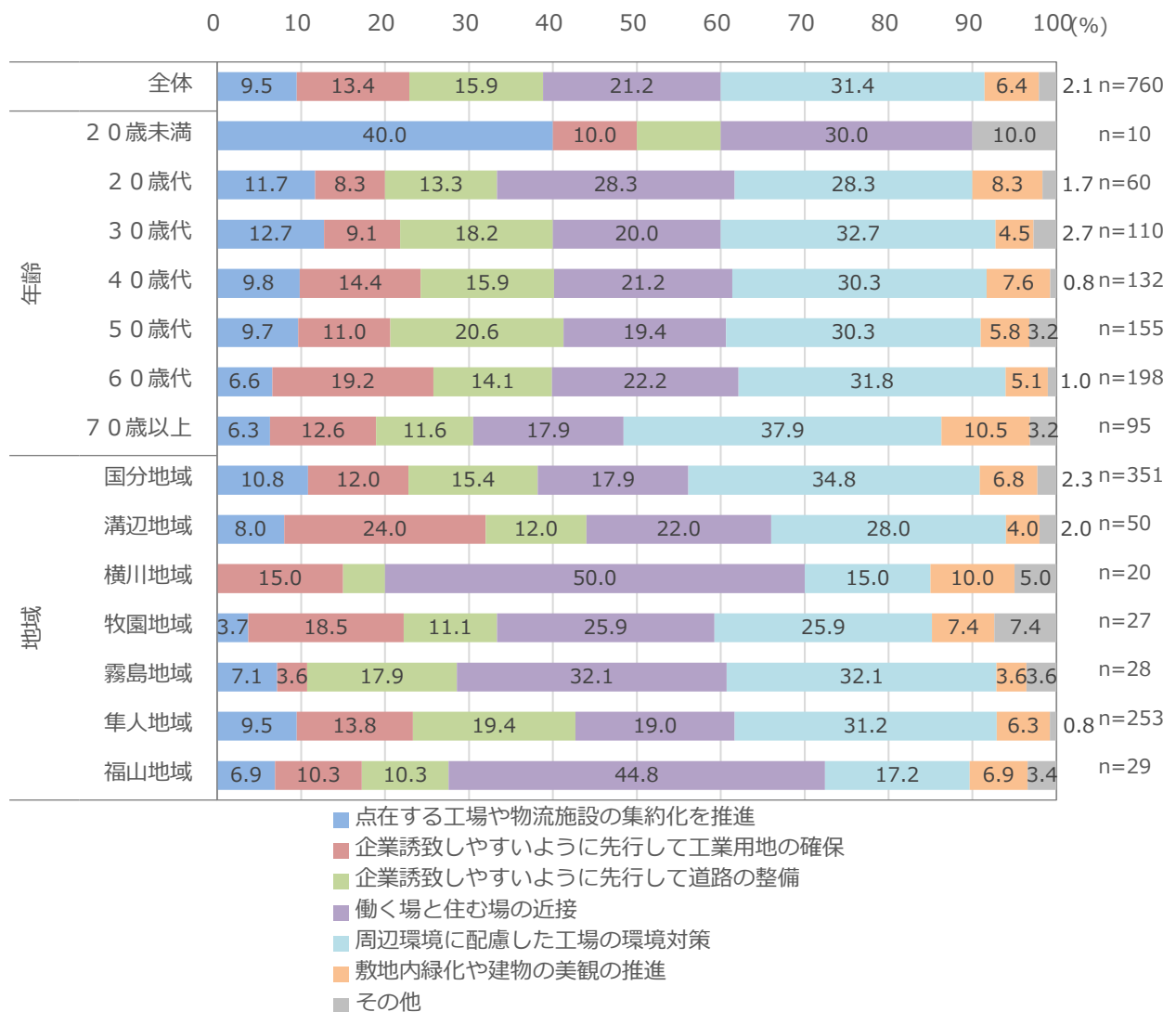
- ・全体では、郊外への大規模商業施設の誘導（20.7%）、J R国分駅・隼人駅周辺への商業施設の誘導（20.3%）をはじめ、どの回答もほぼ拮抗している。
- ・年齢別では、若年層になるほど、J R国分駅・隼人駅周辺への商業施設の誘導への回答が高くなる傾向にあり、まちなかにぎわいを求めていることがうかがわれる。
- ・横川、牧園、霧島の3地域では、「各総合支所等の地区の中心部への商業施設の誘導」への回答が多く、溝辺地域では、「郊外への大規模商業施設の誘導」への回答が多い。霧島では、「観光地に密着した小規模店舗の誘導」も多く、地域性を考慮した回答となっている。



問8. これからの工業地について、どのような取組が重要と思いますか。お考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

＜工業地において重要な取組＞

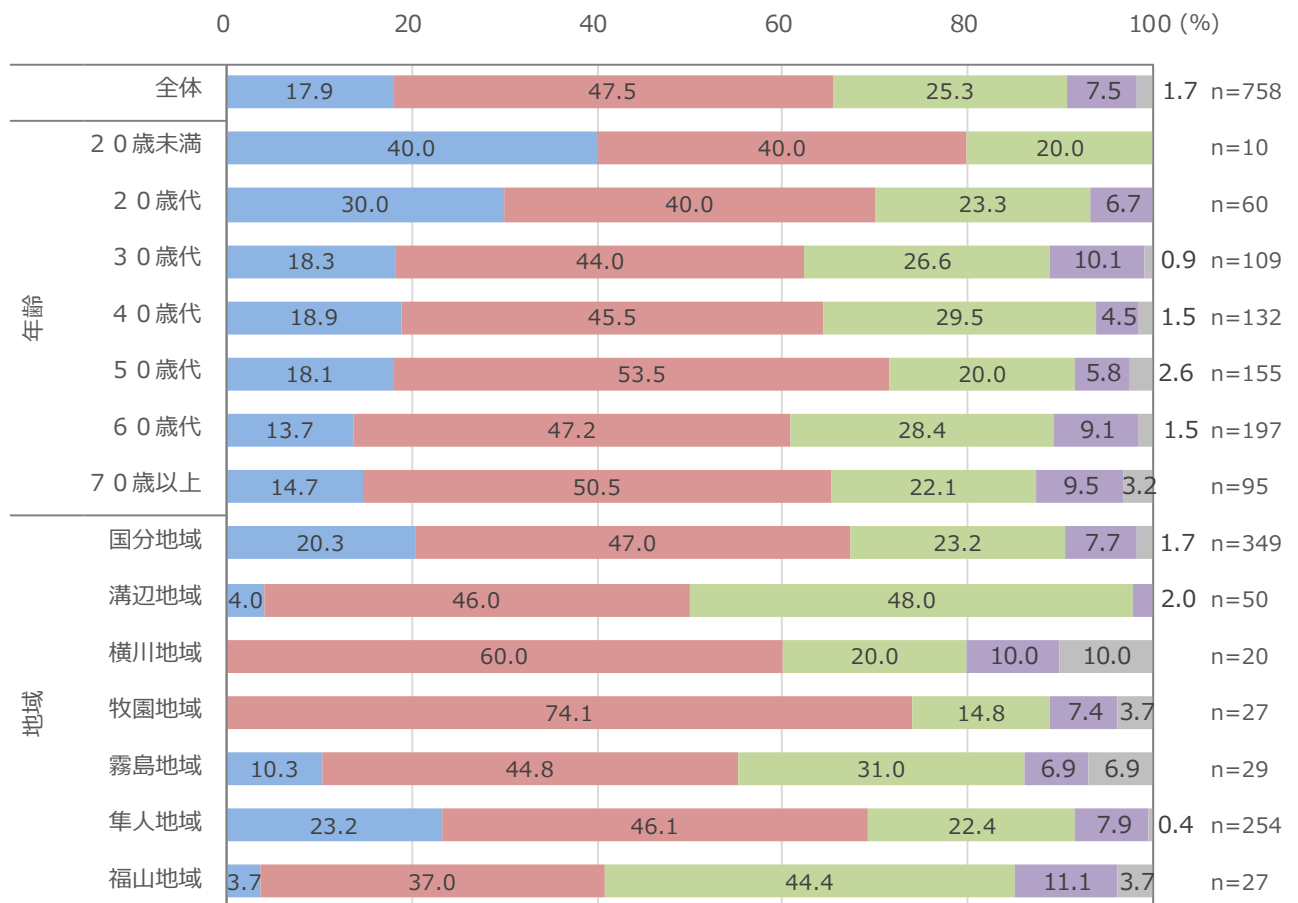
- ・ 全体では、  
 第1位：「周辺環境に配慮した工場環境対策」(31.4%)  
 第2位：「働く場と住む場の近接」(21.2%)  
 第3位：「企業誘致しやすいように先行して道路の整備」(15.9%)  
 の順で回答が多かった。
- ・ 年齢別では、20歳未満では、「点在する工場や物流施設の集約化」への回答が多い。
- ・ 福山、横川の2地域では、「働く場と住む場の近接」を望む回答が4割以上を占めている。



問9. これからの市街地整備について、どのような取組が重要と思いますか。お考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

＜市街地整備において重要な取組み＞

- ・ 全体では、  
第1位：「空き地や空き施設を有効活用し、市街地の拡大は極力抑えるべき」（47.5%）  
第2位：「良好なまちづくりや開発であれば、多少の拡大は構わない」（25.3%）  
の順で回答が多かった。
- ・ 年齢別では、若年層になるほど「JR国分駅・隼人駅周辺の商業施設等の活性化」への回答が高まる傾向にある。
- ・ 溝辺、福山の2地域では、「良好なまちづくりや開発であれば、多少の拡大は構わない」とする回答が4～5割と最も多い。



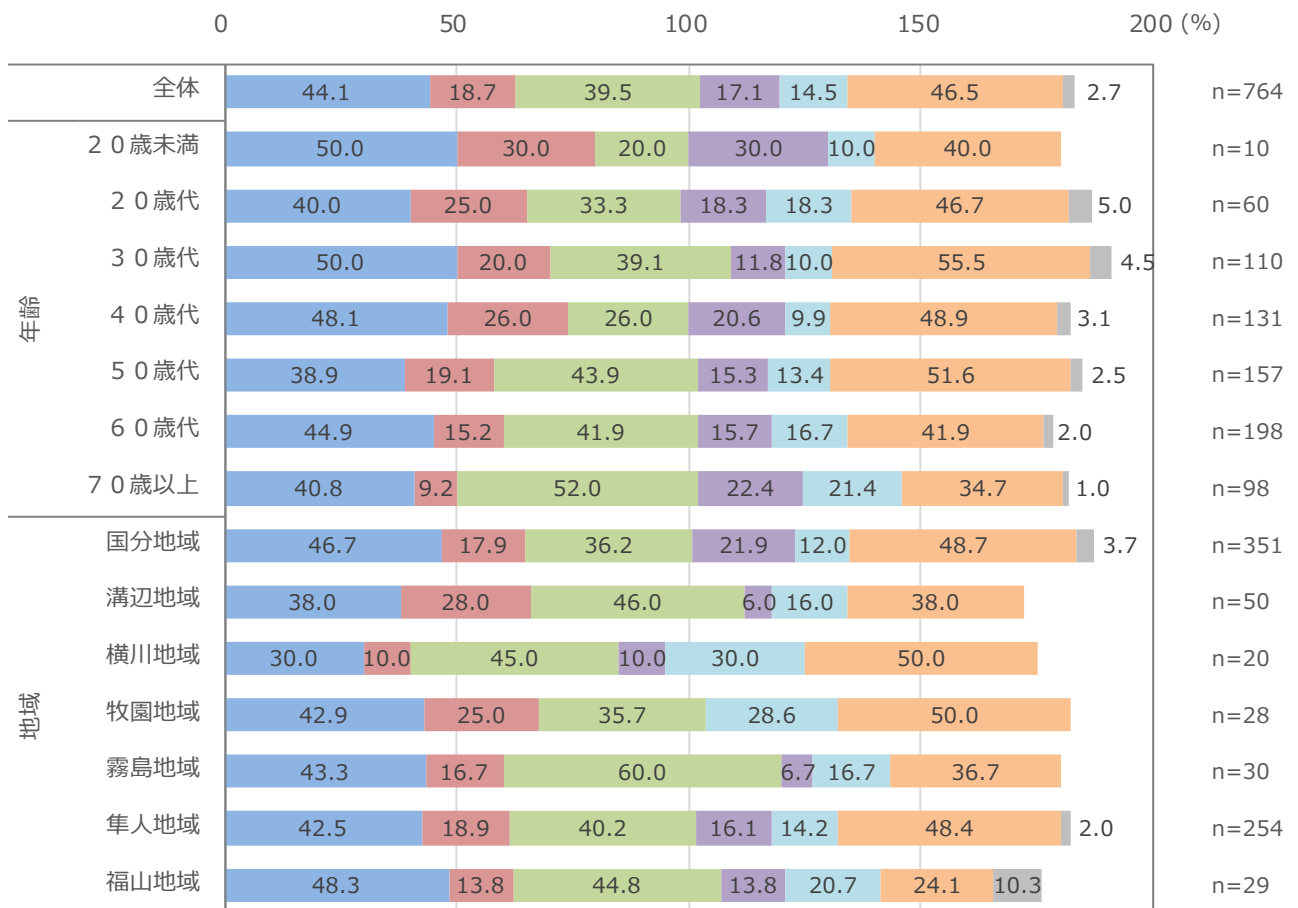
- JR国分駅・隼人駅周辺の商業施設等の活性化
- 空き地や空き施設を有効活用し、市街地の拡大は極力抑えるべき
- 良好なまちづくりや開発であれば、多少の拡大は構わない
- 積極的に市街地や住宅地の拡大を図るべき
- その他



問 10. これからの道路整備について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。※複数回答

<道路整備において重要な取組み>

- ・全体では、  
 第1位：「道路の渋滞や混雑の解消」（46.5%）  
 第2位：「自宅周辺などの狭い生活道路の解消のための身近な道路の整備」（44.1%）  
 第3位：「広い歩道や段差の解消など、高齢者や障がい者等にも優しい道路の整備」（39.5%）  
 の順で回答が多かった。
- ・横川、牧園の2地域では「街路樹や花壇の設置、歩道の舗装などによる景観の美しい道路の整備」への回答も3割を占めており、道路景観を重要視していることがうかがわれる。

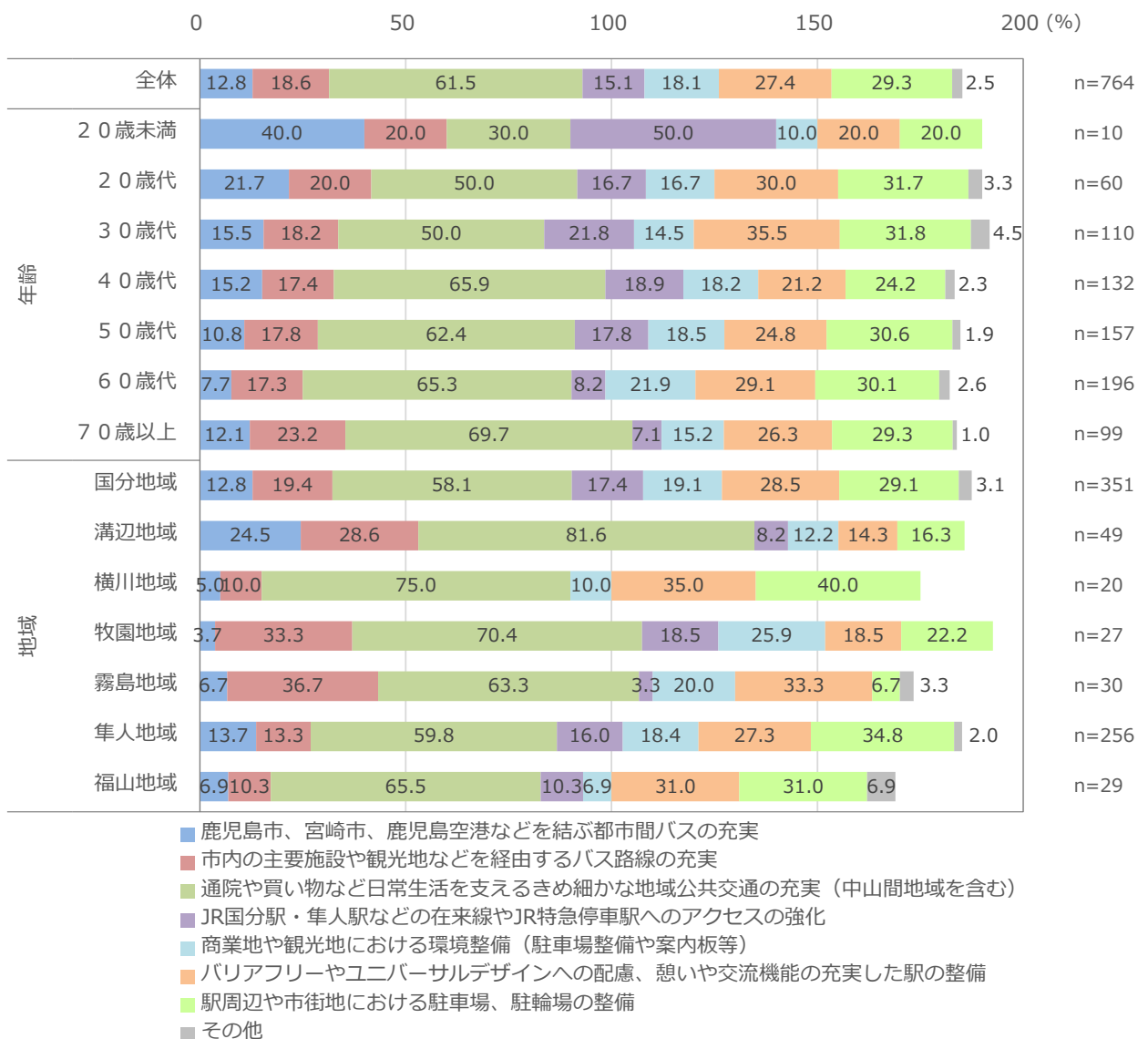


- 自宅周辺などの狭い生活道路の解消のための身近な道路の整備
- 鹿児島市・始良市や都城市への移動を円滑にするための幹線道路の整備
- 広い歩道や段差の解消など、高齢者や障がい者等にも優しい道路の整備
- 自転車の快適かつ安全な走行のための自転車道の整備
- 街路樹や花壇の設置、歩道の舗装などによる景観の美しい道路の整備
- 道路の渋滞や混雑の解消
- その他

問 11. これからの交通環境について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。※複数回答

＜道路整備において重要な取組み＞

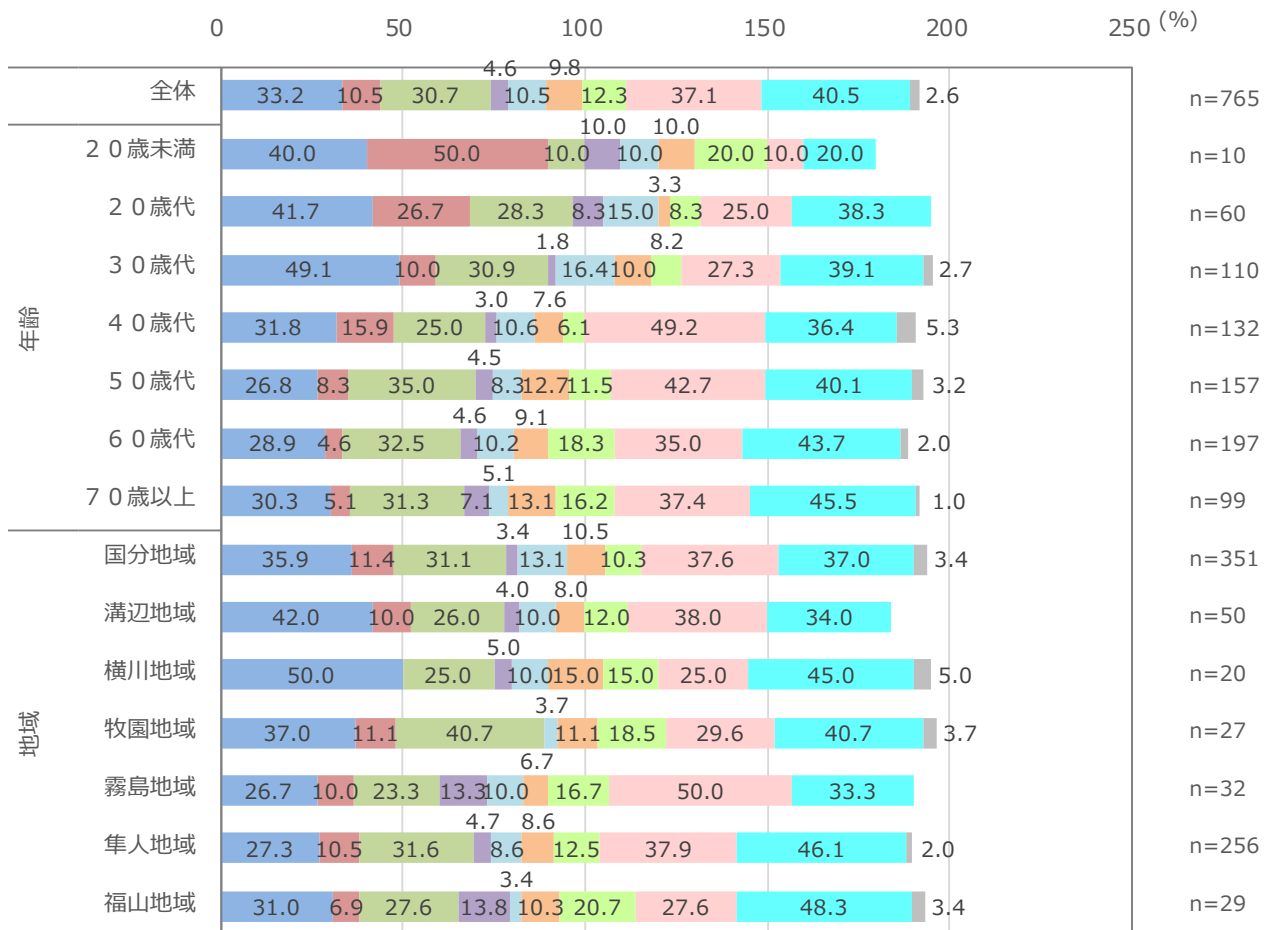
- ・全体では、  
 第1位：「通院や買い物など日常生活を支えるきめ細かな地域公共交通の充実」(61.5%)  
 第2位：「駅周辺や市街地における駐車場、駐輪場の整備」(29.3%)  
 第3位：「バリアフリーやユニバーサルデザインへの配慮、憩いや交流機能の充実した駅の整備」(27.4%)  
 の順で回答が多かった。
- ・溝辺、横川、牧園の3地域では、地域公共交通の充実に対する回答が7割以上と、特に意向が高くなっている。



問 12. 公園や緑地は、「レクリエーションの場」「環境保全」「景観形成」「避難地等の防災」など多様な役割があります。今後、どのような公園や緑地を整備し、又は充実させて欲しいとお考えですか。あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。※複数回答

<公園や緑地の取組>

- ・全体では、  
 第1位：「災害時の避難場所にもなる防災機能を備えた公園」（40.5%）  
 第2位：「ジョギングや散歩のできる緑道や遊歩道」（37.1%）  
 第3位：「地域の人々の交流や子ども達が遊具を容易に利用できる身近な公園」（33.2%）  
 の順で回答が多かった。「遊び方を限定しない広場や樹木の多い緑地公園」への回答も3割と上位を占めている。
- ・30歳以下では身近な公園やスポーツのできる公園への回答が多い。
- ・溝辺、横川の2地域では身近な公園の回答が4～5割あり、他地域より高い。



- 地域の人々の交流や子ども達が遊具を容易に利用できる身近な公園
- サッカーや野球、テニスなどのスポーツができる公園
- 遊び方を限定しない広場や樹木の多い緑地公園
- 歴史や文化にあふれる公園
- 海岸や河川沿いを散策できる、水辺に親しめる公園
- 野鳥や生物の観察ができる自然に近い公園
- 建物の敷地内など気軽に休憩できる花や緑が植えられた小広場
- ジョギングや散歩のできる緑道や遊歩道
- 災害時の避難場所にもなる防災機能を備えた公園
- その他

問 13. 今後、美しい景観を守り育てていくためには、どのような取組みが重要と思いますか。あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。※複数回答

<景観保全・育成の取組>

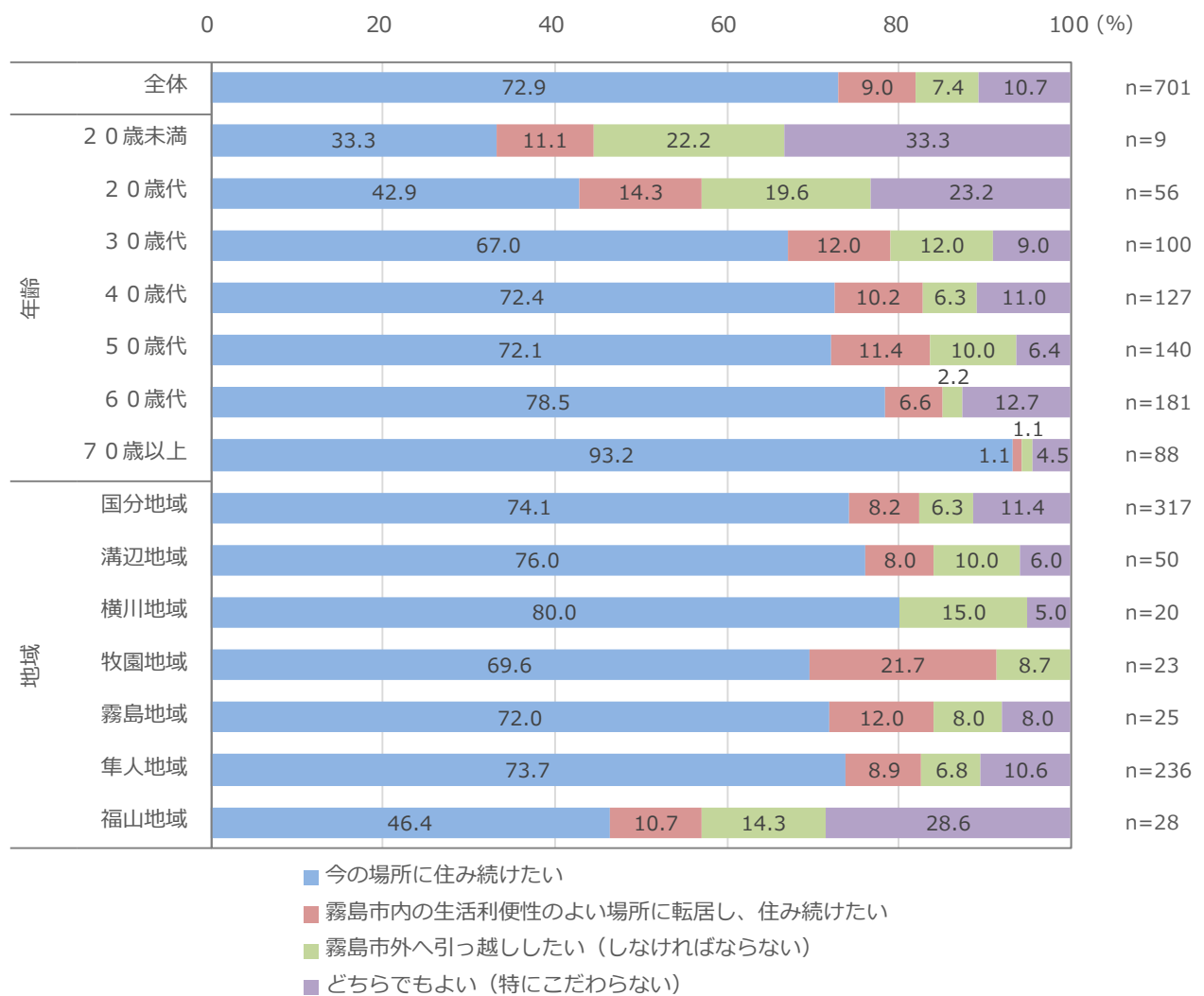
- ・全体では、  
 第1位：「道路での街路樹の整備や電線類の地中化」(39.9%)  
 第2位：「天降川や霧島川などの河川、下井や小浜などの海岸における水辺空間の保全」(28.8%)  
 第3位：「JR国分駅や隼人駅周辺など本市の顔となる地域の風格ある景観の形成」(27.1%)  
 の順で回答が多かった。道路や河川など景観軸に対する取組を重要視していることがうかがわれる。
- ・牧園、霧島の2地域では「韓国岳などが連なる霧島連山の雄大な山岳景観の保全」への回答も4割を占め、高い。



問 14. 今後も霧島市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

<今後の定住意向>

- ・全体の7割以上が「今の場所に住み続けたい」(72.9%)と回答。
- ・20歳未満、20歳代では「霧島市外へ引越したい(しなければならない)」が2割と多く、市外への転出意向が高い。
- ・牧園地域では「霧島市内の生活利便性のよい場所に転居し、住み続けたい」(21.7%)への回答が他地域より多く、地域内の生活利便性を懸念していることがうかがわれる。



※問 14 で、「1 今の場所に住み続けたい」「2 霧島市内の生活利便性のよい場所に転居し、住み続けたい」と回答された方におたずねします。

問 14-1. 今後も霧島市に住み続けたいと思いますか。次の中から 2 つまで選び○をつけてください。※複数回答

＜現住所や市内への定住の理由＞

- ・ 全体では  
第 1 位：「財産（家屋、田畑、山林、墓地等）があるから」（48.9%）  
第 2 位：「生活するのに便利だから」（39.8%）  
第 3 位：「家族や親族がいるから」（24.1%）  
の順で回答が多かった。
- ・ 20 歳未満や 20 歳代では、生まれ育った土地への愛着が重視される傾向にある。
- ・ 国分や隼人の 2 地域では、生活の利便性を重視しているのに対し、霧島では自然環境や景観の良さを重要視していることがうかがわれる。



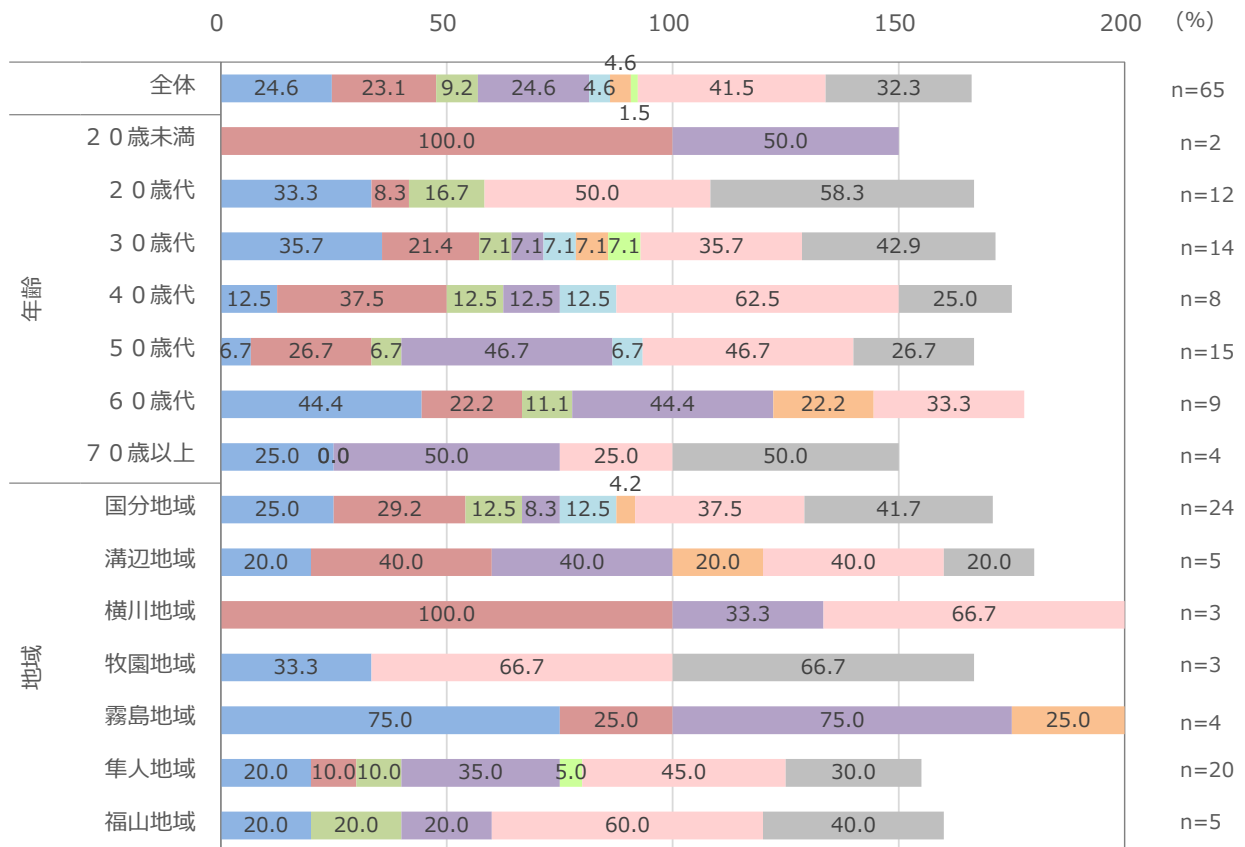
- 財産（家屋、田畑、山林、墓地等）があるから
- 友人や近所との付き合いがあるから
- 家族や親族がいるから
- 自然環境や景観が良いから
- 生まれ育った土地で愛着があるから
- 通勤・通学しやすいから
- 生活するのに便利だから
- 治安や防災体制がよいから
- その他

※問 14 で、「3 霧島市外へ引っ越したい（しなければならぬ）」と回答された方におたずね  
 します。

問 14-2. 引っ越したい（しなければならぬ）と思う理由・事情について、次の中から 2 つま  
 で選び○をつけてください。※複数回答

<引越したい（しなければならぬ）理由>

- ・全体では  
 第 1 位：「霧島市よりも魅力を感じる地域が市外にある」（41.5%）  
 第 2 位：「その他」（32.3%）  
 第 3 位：「働く場や機会が少ない」、「医療機関や福祉サービスが充実していない」（ともに 24.6%）  
 の順で回答が多かった。
- ・横川、溝辺では、通勤・通学・買い物の不便さへの回答が多い。
- ・20～30 歳代、70 歳以上では「その他」への回答が約半数を占め、理由が回答選択肢の範疇にあ  
 収まらない、多様であることがうかがわれる。

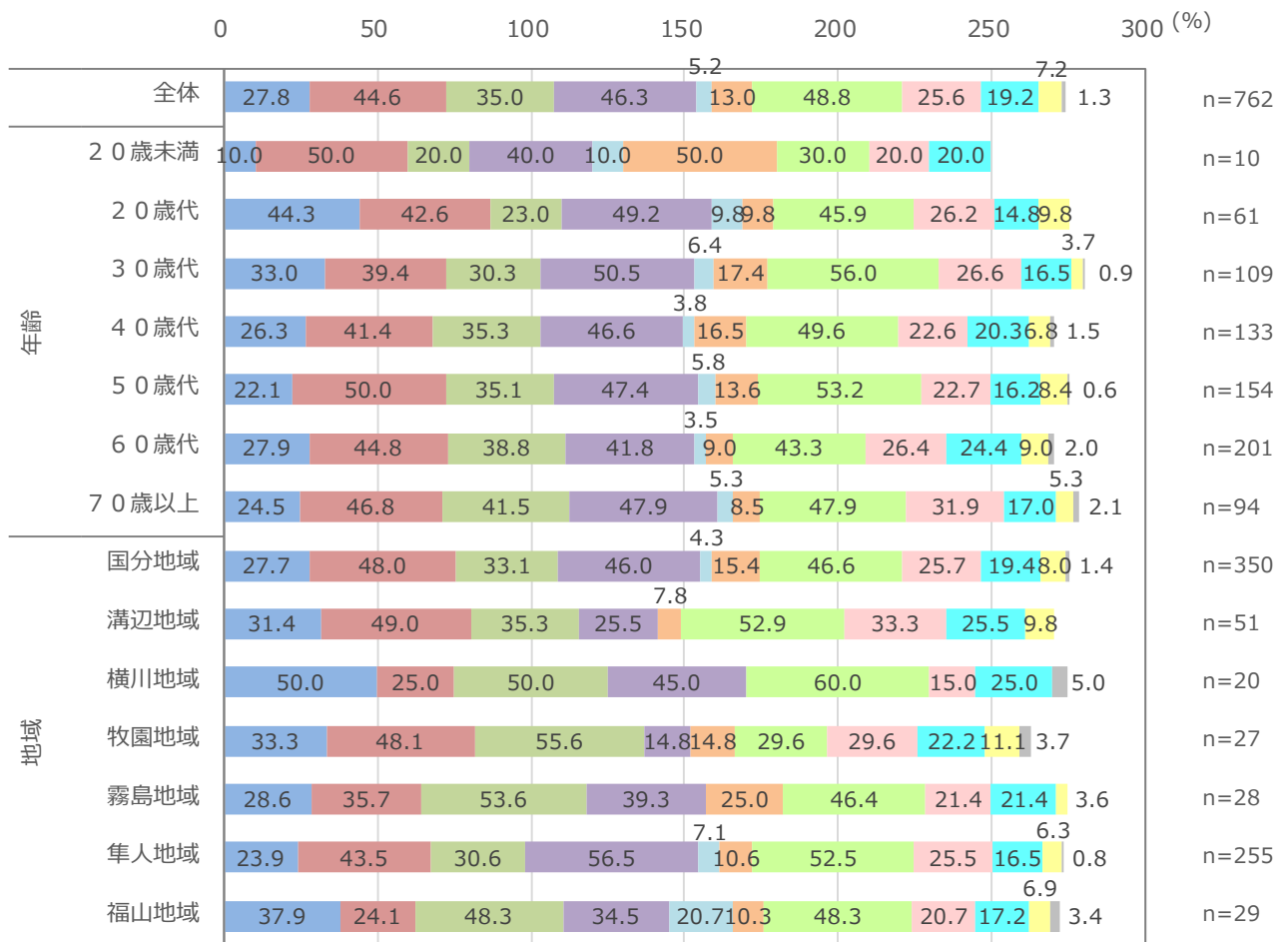


- 働く場や機会が少ないから
- 通勤・通学・買い物などが不便だから
- 子育てや子供の教育の環境が整っていないから
- 医療機関や福祉サービスが充実していないから
- 公園・スポーツ・レジャー施設が充実していないから
- 自然環境や景観がよくないから
- 治安や災害に対して不安だから
- 霧島市よりも魅力を感じる地域が市外にあるから
- その他

問 15. 近年、土砂災害・冠水被害が発生しているほか、新燃岳・御鉢の噴火に伴う火山被害等が懸念されています。災害に対して安全なまちづくりを進めるには、どのようなことが重要と思いますか。あてはまる番号を3つまで選び○をつけてください。※複数回答

<防災面で重要な取組み>

- ・全体では  
 第1位：「ライフライン（電気、ガス、通信、上下水道等）の強化・充実」（48.8%）  
 第2位：「大雨による河川の氾濫や浸水被害に対する対策」（46.3%）  
 第3位：「避難や救助活動のための道路、避難施設の整備」（44.6%）  
 の順で回答が多かった。
- ・国分、隼人、横川では浸水対策、牧園、霧島、横川では土砂災害対策への回答が高く、地域の地理的条件の違いが回答に反映されているものと考えられる。



- 木造住宅や老朽建物など、地震や火災に弱い建物の耐震化・不燃化・建替え・除却の促進
- 避難や救助活動のための道路、避難施設の整備
- がけ崩れや土石流などに対する土砂災害対策の推進
- 大雨による河川の氾濫や浸水被害に対する対策
- 防波堤の整備など津波に対する対策
- 霧島山、桜島の火山災害に対する、砂防施設や避難路の整備
- ライフライン（電気、ガス、通信、上下水道等）の強化・充実
- 避難場所の周知や防災訓練などによる市民の防災意識の向上
- 防災無線や地上デジタル放送などを利用したリアルタイムの災害情報発信
- 港やヘリポート、広域道路等の整備による市外への防災ネットワークの強化
- その他



問 16. 地域がまちづくりに取り組むためには、今後、どのような行政の支援が必要だと思いますか。必要と思うものをいくつでも○をつけてください。

＜地域がまちづくりに取り組むために必要な行政の支援策＞

- ・ 全体では  
第 1 位：「まちづくり情報の提供」(51.0%)  
第 2 位：「まちづくり活動、ボランティア活動への財政的支援」(39.5%)  
第 3 位：「まちづくり団体やまちづくりの仲間が集う機会・場所の提供」(28.3%)  
の順で回答が多かった。
- ・ 60 歳代では、「まちづくり活動、ボランティア活動への財政的支援」(45.0%) への回答が他の年代に比べ、多い。
- ・ 霧島では「まちづくりの専門家やアドバイザーの派遣」にも回答が多く、横川、福山、牧園の 3 地域では「地域リーダーを育成する取組」への回答も多い。

